

消防広第 128 号
平成 30 年 3 月 13 日

各都道府県消防防災主管部長 }
東京消防庁・各政令指定都市消防長 } 様

消防庁広域応援室長
(公 印 省 略)

緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練図上訓練
企画・実施マニュアルの活用について

平素は、緊急消防援助隊の運用及び体制の整備に御尽力を賜り感謝申し上げます。

この度、消防庁では、緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練（以下「ブロック訓練」という。）において実施される図上訓練の作成に係る負担の軽減と訓練の高度化・高頻度化を図るために「緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練図上訓練企画・実施マニュアル」を作成しました。

つきましては、「平成 30 年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練実施上の重点推進事項について」（平成 30 年 3 月 8 日付け消防広第 124 号）で定めたとおり、ブロック訓練の開催都道府県においては、当該マニュアルを十分に活用し、ブロック訓練における図上訓練を企画・実施するようお願いします。

また、ブロック訓練のみならず、あらゆる機会を捉えて当該マニュアルを活用して図上訓練を実施していただき、都道府県及び消防本部の受援体制の更なる強化を図っていただきますようお願いします。

都道府県におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知していただきますようお願いします。

消防庁広域応援室 調整係
担当 明田・望月・北村
TEL 03-5253-7527
アドレス s4.kitamura@soumu.go.jp

緊急消防援助隊 地域ブロック合同訓練 図上訓練企画・実施マニュアル【本編】

平成30年 3月
消防庁 広域応援室

1. マニュアルの概要

- 1-1. 策定の目的及び訓練マニュアルの構成
- 1-2. 訓練資料作成のスケジュール
- 1-3. 「訓練ベースモデル」の概要

2. 訓練の企画

- 目的及び評価項目の設定

3. 訓練の設計

- 3-1. 訓練シナリオの作成
- 3-2. 被害想定の設定
- 3-3. 状況付与の作成

4. 訓練の実施

- 4-1. 事前説明会の開催
- 4-2. 訓練当日の運営

5. 訓練の評価

- 5-1. 評価の実施
- 5-2. アンケートの実施及び改善計画の策定

1. マニュアルの概要

■ 策定の目的

「緊急消防援助隊 地域ブロック合同訓練 図上訓練企画・実施マニュアル」（以下「図上訓練マニュアル」という。）は、図上訓練担当者に多大な負担がかかる現状を解決するため、訓練を企画・実施する上で必要なノウハウや各種訓練資料を標準化することにより、負担軽減を図り、訓練の高度化・高頻度化を図るものである。

■ 訓練マニュアルの構成

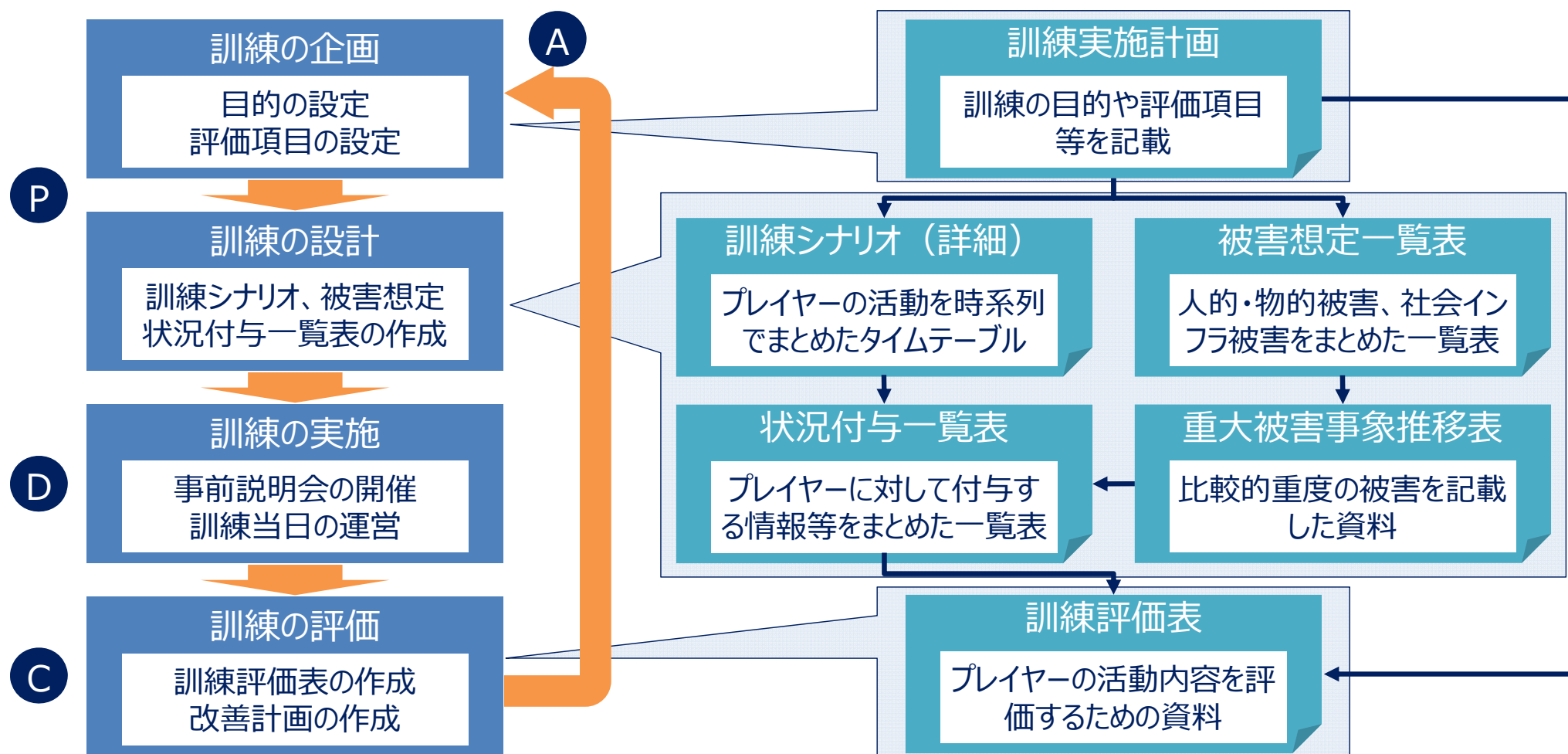
- 「図上訓練マニュアル」は、【本編】と【別添資料】で構成している。
- 【本編】は、訓練の企画から、設計、実施、評価までの一連の流れに沿って、作成すべき資料や準備事項を説明している。
- 【別添資料】は、被害想定、状況付与カードの作成、ニュースライド等を効率良く作成するための手順を解説した「訓練資料作成の手引き」と訓練資料のひな形となる「訓練資料テンプレート」の2種類を用意している。

■ 訓練の企画から評価までの流れ及び作成資料

訓練は、下図のとおりPDCAサイクルを重視して企画から評価までの一連の流れで作成し、各構成において必要な資料を作成するため、図上訓練マニュアルもこの流れに沿って説明する。

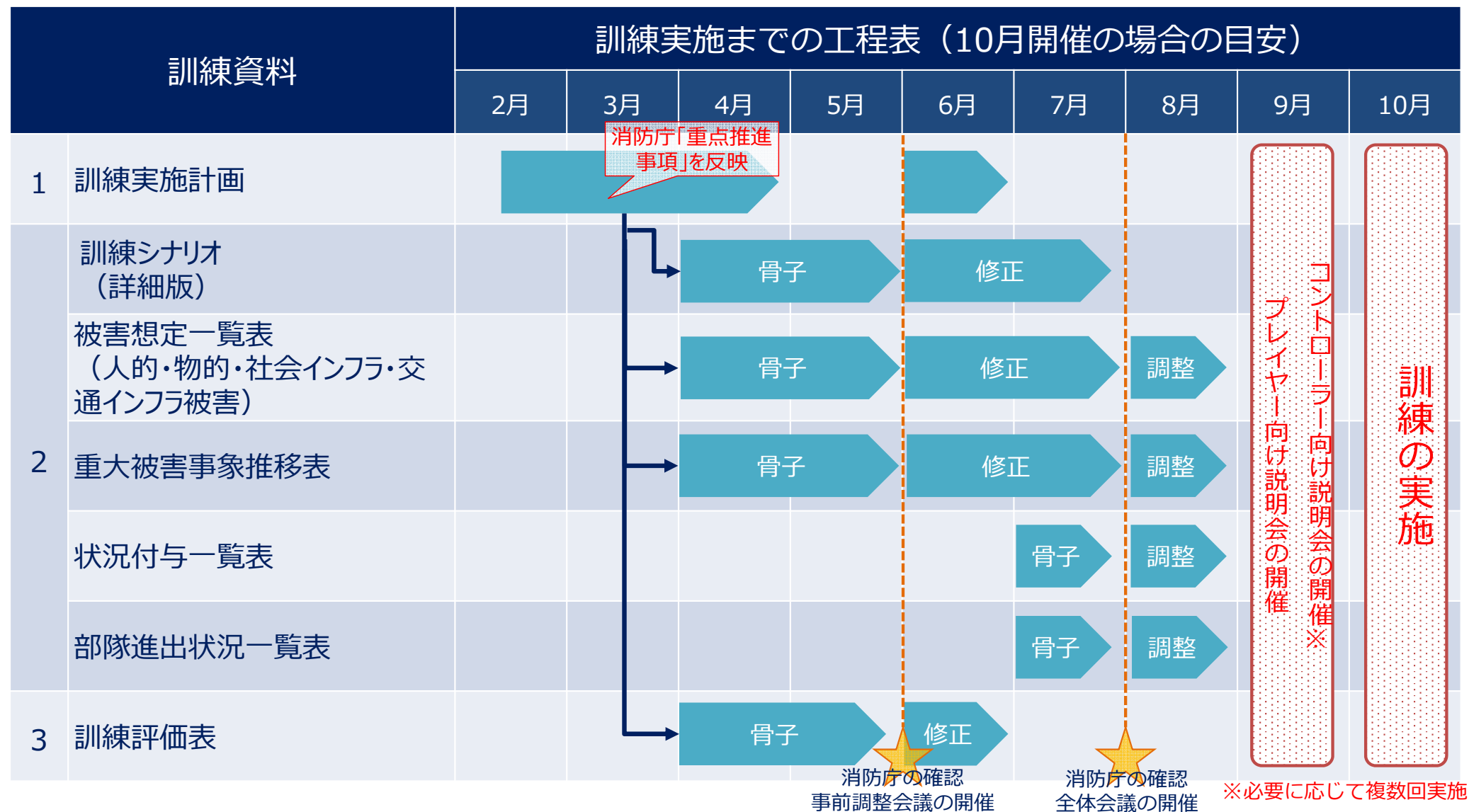
PDCAを重視した流れ

作成資料



■ 訓練実施までの主な工程

下図を参考に、訓練資料作成のスケジュールを作成する。



■ 想定災害

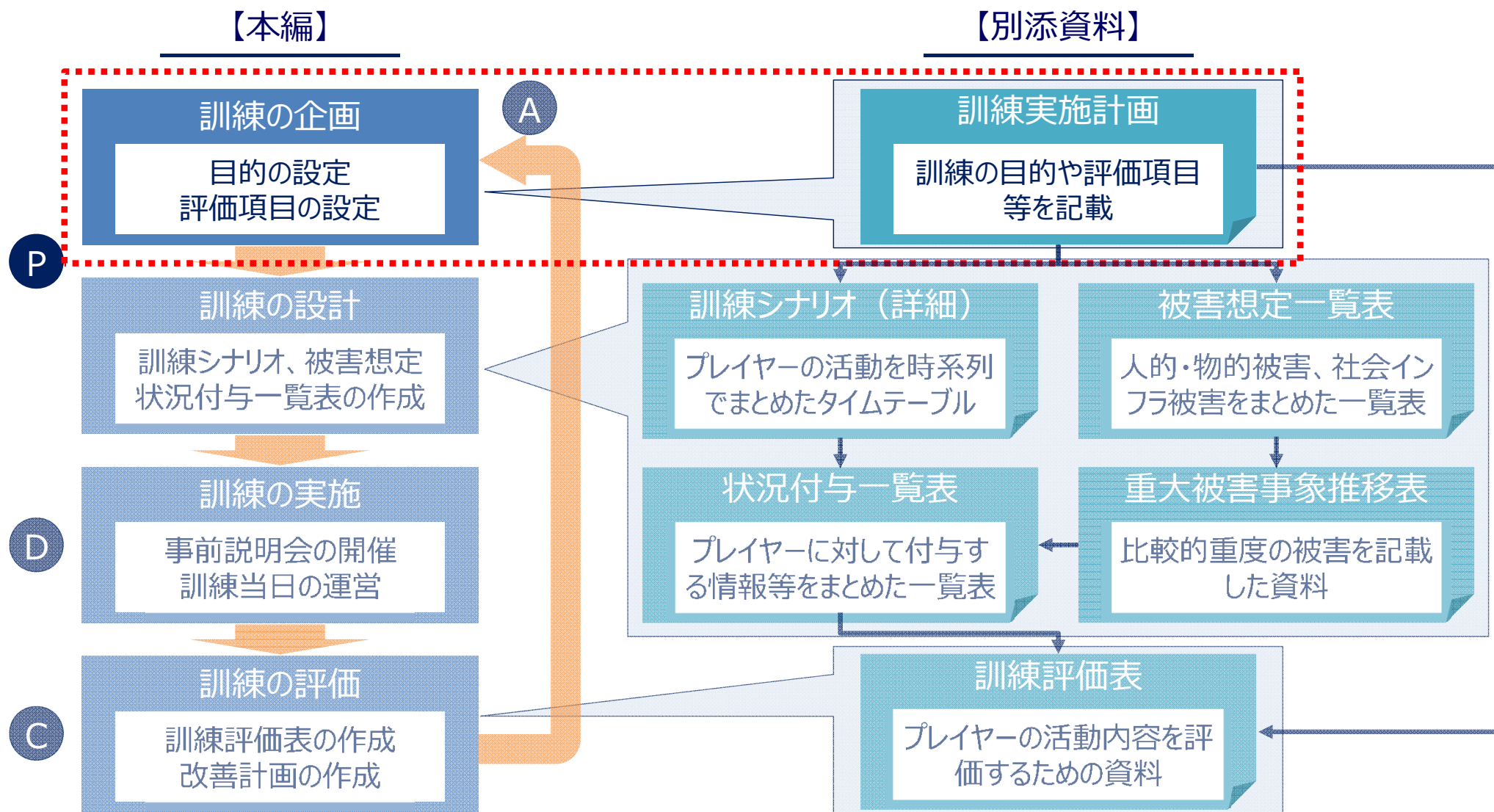
「訓練ベースモデル」では、直下型地震と海溝型地震（津波発生）の2種類の地震を想定しているが、地域特性を踏まえ、訓練を企画・設計する。

項目	「訓練ベースモデル」の種類	
	直下型地震	海溝型地震
訓練時間	<ul style="list-style-type: none"> 9時00分～12時30分（所要3時間半） 	
訓練方法	<ul style="list-style-type: none"> 状況付与型図上訓練 	
向上が期待される能力	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県及び消防本部における「受援力」の向上 指揮支援隊の部隊運用に関する「調整力」の向上 	
被害想定	<ul style="list-style-type: none"> 9時00分 最大震度5強の直下型地震が発生 震源地に近い市町村では、多数の人的・物的被害を確認 土砂災害、石油コンビナート火災、化学薬品工場等にて重大被害事象が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 9時00分 最大震度5強の海溝型地震が発生 沿岸部に津波が到達 港湾施設を中心に多数の人的・物的被害を確認 沖合に津波で流されたと思われる複数の漂流者を確認

2. 訓練の企画

■ 訓練の企画

訓練の企画は、下図の赤枠のステップである。



■ 目的の設定

訓練の目的を設定する際は、下記の資料や観点を参考とする。

- 「重点推進事項」
- 前年度のブロック訓練や開催都道府県における過去の訓練で抽出された課題
- 近年発生した実災害の教訓
- 近年に改定された各種計画・ガイドライン

■ 評価項目の設定

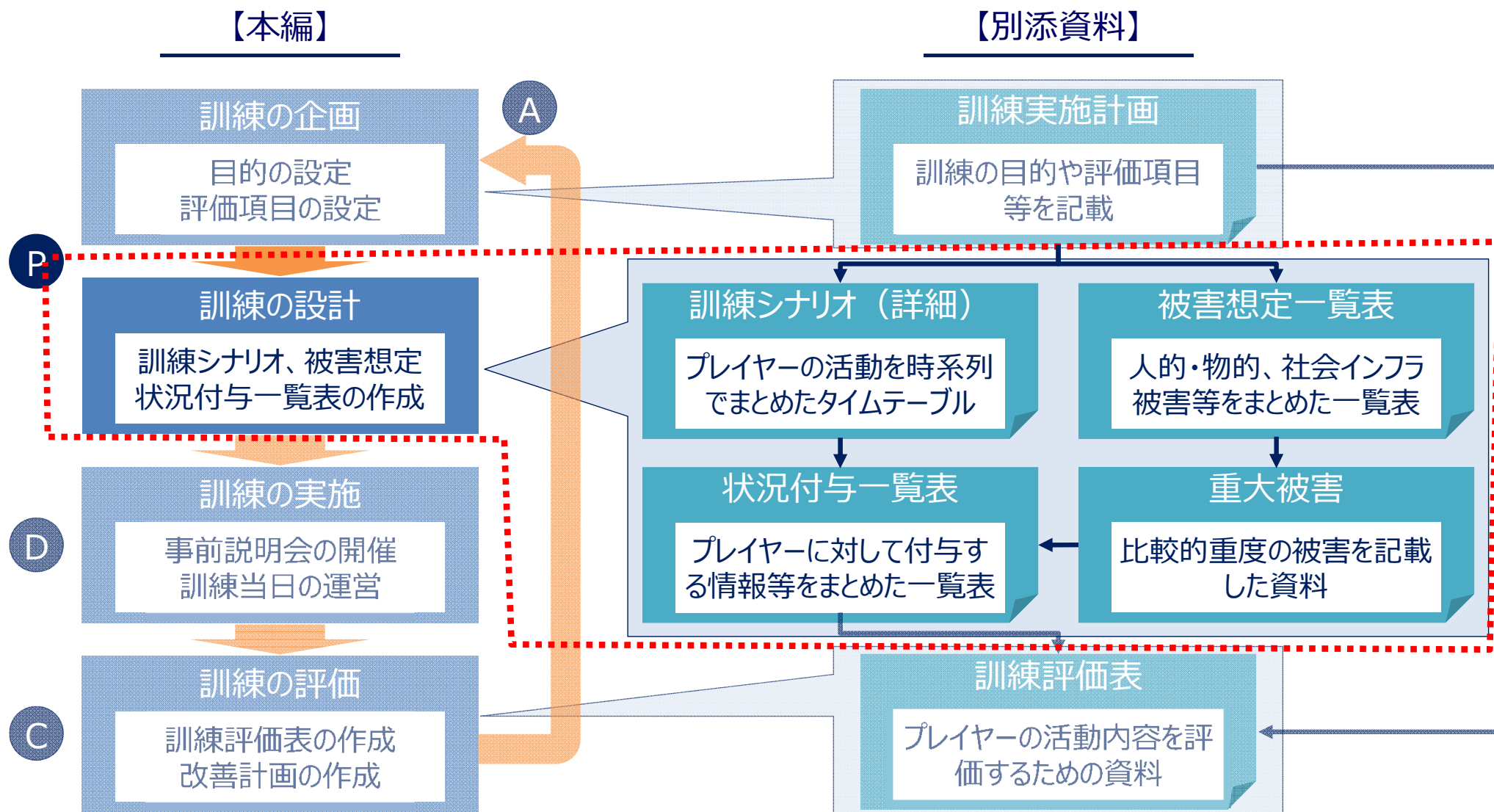
向上が期待される能力に応じて、評価項目を検討し、設定する。特に重点を置く評価項目は下記のとおり。

#	向上が期待される能力	重点評価項目
1	都道府県及び消防本部における「受援力」の向上	発生した災害の規模・特殊性と被災地消防本部、都道府県内消防応援隊、自衛隊災害派遣部隊等を比較し、緊急消防援助隊の応援要請を判断できるか。また応援要請を行う際は、緊急消防援助隊が行うべき、具体的な活動内容まで検討できるか。
2		被害状況や被災地消防本部、都道府県内消防応援隊、他機関の活動状況をとりまとめ消防庁や出動している緊急消防援助隊に共有できるか。その他緊急消防援助隊の活動に必要な情報を収集し、効率的に共有できるか。
3	指揮支援隊の部隊運用に関する「調整力」の向上	余震、降雨等を考慮し、活動中の部隊の活動中止基準及び進出拠点や宿営場所の安全性について検討・決定することができるか。
4		余震、降雨等により新たに発生した災害の規模に合わせ、緊急消防援助隊の増隊やすでに活動している部隊の移動を検討・決定することができるか。
5		航空機の運用調整や警察、自衛隊、DMAT等と役割を分担し、活動調整を実施できるか。

3. 訓練の設計

■ 訓練の設計

訓練の設計は、下図の赤枠のステップである。



■ シナリオ概要版の作成

概ね30分程度の時間軸に、各機関の想定される活動を検討する。

時間軸 (時間経過)	被災地		消防庁	緊急消防援助隊			関係機関		
	指揮支援本部	消防応援活動調整本部		指揮支援部隊	都道府県大隊		警察	自衛隊	DMAT
					統合機動部隊				
発災 00分～30分	○被害状況の入電・報告	○被害状況の収集・集約	○被害状況の収集・集約 ○出動可能隊数の報告依頼	○出動可能隊数の確認と報告			○被害状況の収集・集約 ○機動隊の出動		
本震 30分～1時間	○緊急消防援助隊の応援要請	○緊急消防援助隊の応援要請	○緊急消防援助隊の応援要請受け、出動の求めまたは指示	○出動求めまたは指示を受け、ヘリにて出動	○出動求めまたは指示を受け、部隊の集結開始	○出動求めまたは指示を受け、部隊の出動準備	○警察災害派遣隊の応援要請	○災害派遣要請受け、災害派遣部隊出発	○DMAT出動要請受け、出発
1時間～1時間30分	○消防応援活動調整本部からの問合せの回答	○消防庁からの問合せの回答				○部隊の出動	○リエゾン(LO)到着(県庁)	○リエゾン(LO)到着(県庁)	○災害医療コーディネーター到着(県庁)
1時間30分～2時間	○指揮支援部隊の受入体制の構築		○緊急消防援助隊からの問合せ内容を被災地に確認 ○被災地から入手した被害情報を緊急消防援助隊に伝達	○消防応援活動調整本部/指揮支援本部に到着 ○安全確保基準の検討			○進出拠点、活動場所、宿営場所の確認		
2時間～2時間30分	○被害状況のとりまとめ ○部隊展開の検討 ○消防庁からの問合せ内容の回答		○その他緊急消防援助隊の活動に必要な各種調整や要請の実施		○集結場所にて部隊集結完了、出動		○部隊展開の検討 ○消防部隊との連携 ○航空機の運用調整の実施		
余震 2時間30分～3時間30分	○他機関の活動状況のとりまとめ ○航空運用調整班とヘリコプターの運用調整 ○他班との情報共有			○部隊増隊、移動の検討		○進出拠点、活動場所、宿営場所の確認			

■ 関係機関の活動に係るシナリオの作成方法

訓練シナリオには、関係機関の活動の流れを記載する必要があるため、初期段階で、関係機関との意見交換を実施することが望ましい。

- 訓練設計段階から関係機関に参加してもらい、会議の場で意見交換を行う。
- シナリオの素案を作成し、関係機関に確認と修正を依頼する。

■ 航空機の運用調整に係るシナリオの作成方法

- 航空機（ヘリコプター）は、警察、自衛隊及び医療機関も保有しており、陸路で部隊が進出できない孤立地域や海上での救助活動、隊員輸送、患者搬送、物資輸送等を行うことができる。
- 航空機の運用は、航空機を保有する関係者からなる航空運用調整班において、航空機の装備や特性に応じて任務の割り振りや役割分担を調整することが必要であり、事前に関係機関とシナリオの調整が必要である。

【シナリオの一例】

- ⇒土砂崩れによる孤立地域からの救助、隊員輸送、津波漂流者の救助
- ⇒サイレントタイム設定による飛行停止期間・範囲

※サイレントタイムの設定とは、建物倒壊現場において生存者の確認のために一定時間、飛行を停止すること。

シナリオ概要版の作成

概ね30分程度の時間軸に、各機関の想定される活動を検討する。

時間軸 (時間経過)	被災地		消防庁	緊急消防援助隊			関係機関		
	指揮支援本部	消防応援活動		指揮支援部隊	都道府県大隊	統合機動部隊	警察	自衛隊	DMAT
発災 00分~30分	○被害状況の入電・報告	○収集	○出動可能隊数の報告依頼	○可能隊数の確認と報告					
本震 30分~1時間	○緊急消防援助隊の応援要請	○緊急消防援助隊の応援要請	○緊急消防援助隊の応援要請受け、出動の求めまたは指示	○出動求めまたは指示を受け、ヘリにて出動	○出動求めまたは指示を受け、部隊の集結開始	○出動求めまたは指示を受け、部隊の出動準備	○警察災害派遣隊の応援要請	○災害派遣要請受け、災害派遣部隊出発	○DMAT出動要請受け、出発 ○災害医療コーディネーター到着(県庁)
1時間~1時間30分	○消防応援活動調整本部からの問合せの回答	○消防庁からの問合せの回答	○緊急消防援助隊からの問合せ内容			○部隊の出動	○リエゾン(LO)到着(県庁)	○リエゾン(LO)到着(県庁)	
1時間30分~2時間	○訓練統制上、指揮支援部隊は2時間以内に到着するように作成する。応援要請がなされなかった場合(遅れた場合を含む)重大被害を発生させる。		○消防応援活動調整本部/指揮支援本部に到着	○安全確保基準の検討		○進出拠点、活動場所、宿営場所の確認			
2時間~2時間30分	○被害状況のとりまとめ ○部隊展開の検討 ○消防庁からの問合せ内容の回答		○航空機(ヘリ)による活動が必要となる重大被害を発生させ、関係機関との間で航空機の運用調整を実施する。				○部隊展開の検討 ○消防部隊との連携	○航空機の運用調整の実施	
余震 2時間30分~3時間30分	○他機関の活動状況のとりまとめ	○航空運用調整班とヘリコプターの運用調整	○部隊増隊、移動の検討	○部隊増隊、移動の検討	○緊急消防援助隊の増隊、部隊移動を検討させる契機(トリガー)として、余震により新たな被害を発生させる。				

■ 被害想定の参考資料

都道府県や市町村で策定されている「地域防災計画」や中央省庁が公開している被害想定を踏まえると効率的である。

■ 被害想定全体の作成

震源地を設定し、震度分布、津波浸水域、重大被害事象等を地図上に記載し、被害の全体像を作成する。

■ 人的・物的被害の作成

- 市町村ごとに施設、建物の物的被害、人的被害等の全体像を検討し、作成する。
- 時間経過にともなう被害推移を検討し、作成する。

■ 社会インフラ及び交通インフラ被害の作成

電気、水道、ガス等のライフラインに関する社会インフラ被害と道路、路線等の交通インフラ被害に分けて検討。交通インフラ被害は、訓練中に部隊の進出ルートや進出方法の検討を実施するため、状況付与を作成する際の基礎資料として作成する。

■ 重大被害事象推移表の作成

部隊の増隊の判断や移動の検討を実施するため、通常の被害よりも大規模な重大被害を想定し、作成する。

■ 状況付与

状況付与とは、プレイヤーの活動を促し、訓練全体の進行を統制するために、コントローラーがプレイヤーに各種情報を伝達することである。

■ 状況付与の方法

主な状況付与の方法は、下記のとおり。

- 電話（固定電話、携帯電話、衛星電話、消防救急無線等）
- 状況付与カード、メール、FAX、通信指令書
- 緊急消防援助隊動態情報システム、支援情報共有ツール
- テレビ映像

■ コントローラーの体制

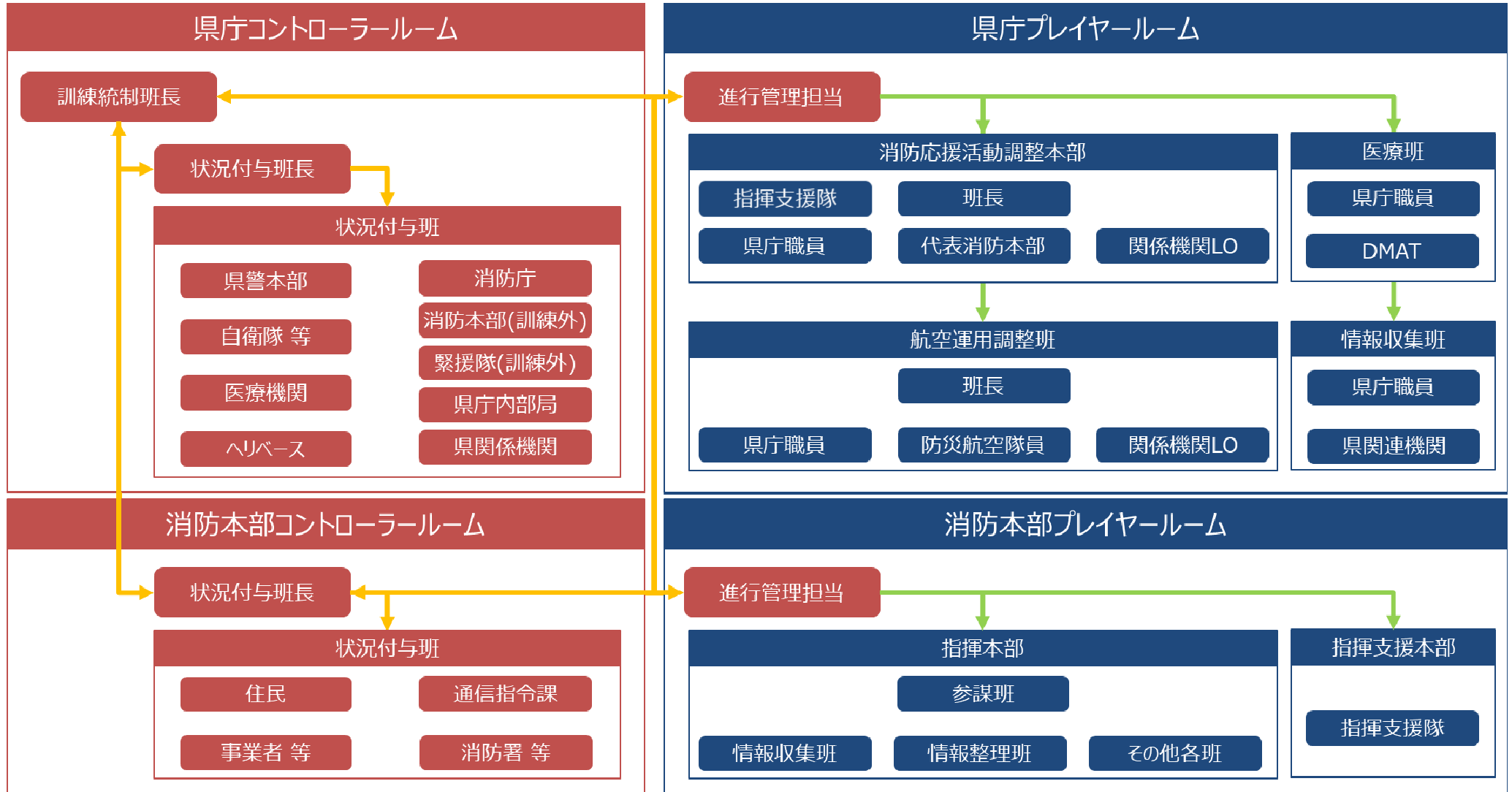
● 訓練統制班

訓練全体の進行管理を行うため、訓練統制班を設置する。訓練統制班には、訓練統制班長を置き、その下に進行管理担当を置く。進行管理担当は、訓練会場（都道府県庁と消防本部）に配置し、訓練の進行状況、特に進行の遅延やシナリオから逸脱状況を訓練統制班長に報告する。

● 状況付与班

プレイヤーに対する状況付与を管理するため、状況付与班を設置する。状況付与班には、状況付与班長を置き、その下に各状況付与担当を置く。状況付与班長は、訓練統制班から訓練の進行状況を確認し、状況付与担当は、状況付与班長の指示の下、プレイヤーに対して状況付与を行う。

■ コントローラーの組織図



↔ : コントローラー間の連携

→ : 訓練進行状況の管理

■ コントローラーの役割、業務内容、求められるスキル等

人数	役割		業務内容	求められる能力			
1	訓練統制班	訓練統制班長	訓練全体の統制	訓練全体の進行、状況付与の内容を把握している職員。 訓練の企画、設計を行った担当者が望ましい。			
2		進行管理担当（都道府県庁）	プレイヤールームにて訓練の進捗状況を確認し、進行の遅延等を報告				
3		進行管理担当（消防本部）					
4	状況付与班	状況付与班長（都道府県庁）	状況付与の統括				
5		状況付与班長（消防本部）					
6		状況付与担当	通信指令課	緊急消防援助隊の応援要請、部隊展開の参考となる被害情報をプレイヤーに対して付与	被害が発生する地域の実情を理解している職員。消防本部職員が望ましい。		
7			消防本部（訓練外）				
8			消防署 等				
9			住民				
10			事業者 等				
11			県庁内部局				
12			県関係機関				
13			消防庁			消防庁としての要請や指示等を付与	消防庁、緊急消防援助隊の活動を理解している職員。 消防庁の職員にて担当できることが望ましい。
14			緊援隊（訓練外）			部隊進出と連動していないため部隊長への連絡・報告事項を付与	緊急消防援助隊の活動を理解している職員
15			県警本部			関係機関LOに対して要請や指示等を付与	関係機関の活動を理解している職員。各機関の職員にて担当できることが望ましい。
16		自衛隊 等					
17		医療機関	医療機関を所管している部署の職員、医療機関職員が望ましい。				
18		ヘリベース	ヘリベースにて勤務している職員、防災航空隊の隊員が望ましい。				

■ 状況付与一覧表の作成

複数の状況付与担当が状況付与を滞りなく実施するため、各担当が実施する付与の詳細を状況付与一覧表に記載する。

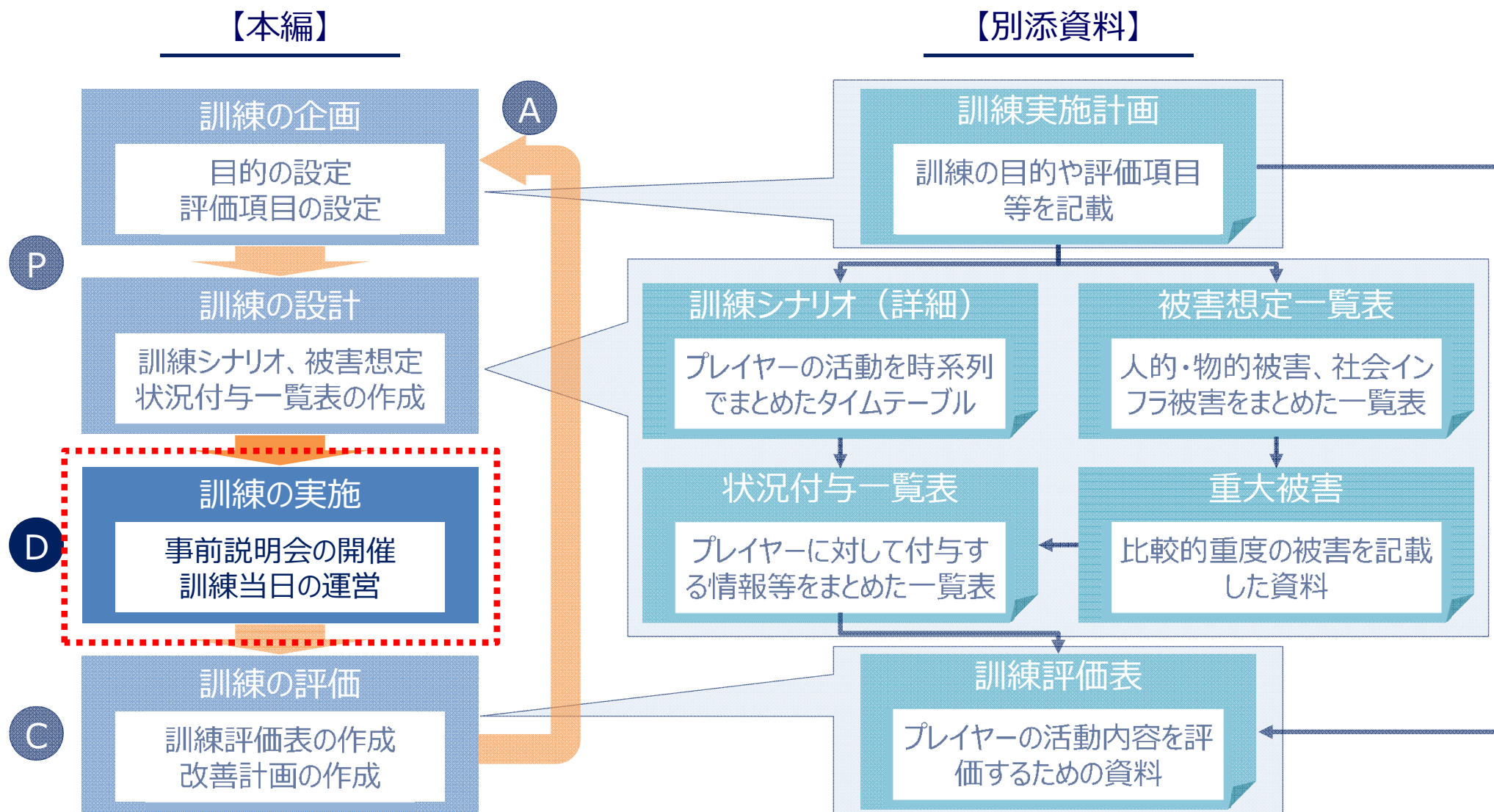
状況付与一覧表では、下表について検討する。

#	項目	視点	検討内容
1	状況付与担当	誰が	状況付与を行う担当者（コントローラー） 1人の担当が複数の付与元を担当する場合もある。
2	付与元	どのような役として	情報源。状況付与担当と同一の場合もある。
3	付与時刻	何時に	状況付与を時刻 訓練によっては仮想の時間を記載する場合もある。
4	付与条件	どのような条件で	状況付与を行う条件 「定時付与」 / 「条件付き付与」 の2種類に分類される。
5	付与先	誰に対して	プレイヤー、県や消防本部の職員、関係機関のLO等が該当する。
6	付与方法	どのような方法で	電話やメール、口頭等
7	付与内容	どのような情報を	被害状況や指示・要望等の具体的な内容
8	添付資料	どのような資料で	添付資料の有無。添付資料がある場合は資料名を記載

4. 訓練の実施

■ 訓練の実施

訓練の実施は、下図の赤枠のステップである。



■ プレイヤー向け説明会の開催

プレイヤーに訓練について説明。特に訓練の目的や評価項目を共有し、プレイヤーが何をしなければいけないのかイメージを醸成する。

項目	内容
説明会の目的	訓練の目的、評価項目、プレイヤーの活動内容の説明
説明会の対象者	訓練当日にプレイヤーとして参加する全ての職員（消防本部職員、関係機関職員を含む）
説明会の次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訓練の概要（実施時期、実施方法（コントローラーの役割）、実施場所等） 2. 訓練の目的、評価項目 3. 発生する災害の種類や被害の概要 ※基本的に被害や訓練シナリオの詳細は説明しない 4. 訓練当日のプレイヤーの活動内容（各班の役割）、留意事項 5. 質疑応答、要望
所要時間	1時間30分～2時間程度
開催時期	訓練実施の2週間前

■ プレイヤー向け説明会を実施する際の注意点

- 訓練当日のイメージ、特に状況付与の流れについてのイメージを醸成するため、30分程度の模擬訓練を実施
- プレイヤーから出た質問や要望を訓練の企画・設計、コントローラー説明会に反映

■ コントローラー向け説明会の開催

コントローラーに訓練について説明。特にコントローラーに期待する役割を説明し、訓練当日までにどのような準備が必要か、作成する資料の不足はないか意見交換を実施する。

項目	内容
説明会の目的	訓練当日のコントローラーの役割、活動内容の説明
説明会の対象者	訓練当日にコントローラーとして参加する全ての職員（消防本部職員、関係機関職員を含む）
説明会の次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訓練の概要（実施時期、実施方法、実施場所等） 2. 訓練の目的、評価項目 3. 訓練シナリオ 4. 状況付与 5. 訓練当日のコントローラーの役割、活動内容 6. 質疑応答、要望
所要時間	1時間30分～2時間程度
開催時期	訓練実施の1週間前

■ 訓練会場のレイアウト

- 消防応援活動調整本部には訓練参加者に加え、見学者が集まるため、訓練参加者の活動に支障が出ないように会場内に規制線を張る等の配慮が必要。
- ただし、見学者に考慮して消防応援活動調整本部の設置場所やレイアウトを変更することなく、緊急消防援助隊に係る受援計画に基づいて設置する。会場の都合上、見学者が入れないのであれば、別室にモニターを用意し、活動の様子を中継する方法もある。

■ 準備する資機材

実際の災害対応で使用する資機材と訓練を円滑に進めるために必要な資機材を用意する。

準備する資機材

実災害対応時に必要な資機材	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急消防援助隊に係る受援計画 ● 地図（可能な限り全班共通とする。フィルムや付箋を貼れるように大判なものがよい。） ● 緊急消防援助隊動態情報システム、支援情報共有ツール等のシステム入力用PC ● 情報収集用紙 ● ホワイトボード、付箋、筆記用具等の備品 ● プリンター、FAX等の電子機器 ● 一般及び衛星電話、消防防災無線、調整本部接続機能を有する電話等の通信機器の一覧 ● 関係機関連絡先一覧
訓練時に必要な資機材	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価者及びコントローラー用ビブス ● コントローラー連絡先一覧



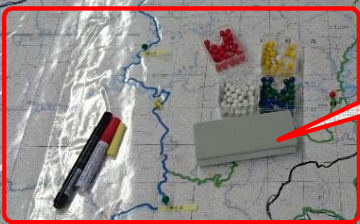
情報のやりとりを行うト
レー (各トレーを役割に応
じて色分け、名札を張る)



地図は必需品。地図表面に
シートを張り、情報を記入



地図に情報を記入するた
めのペンや目印のピンを用意



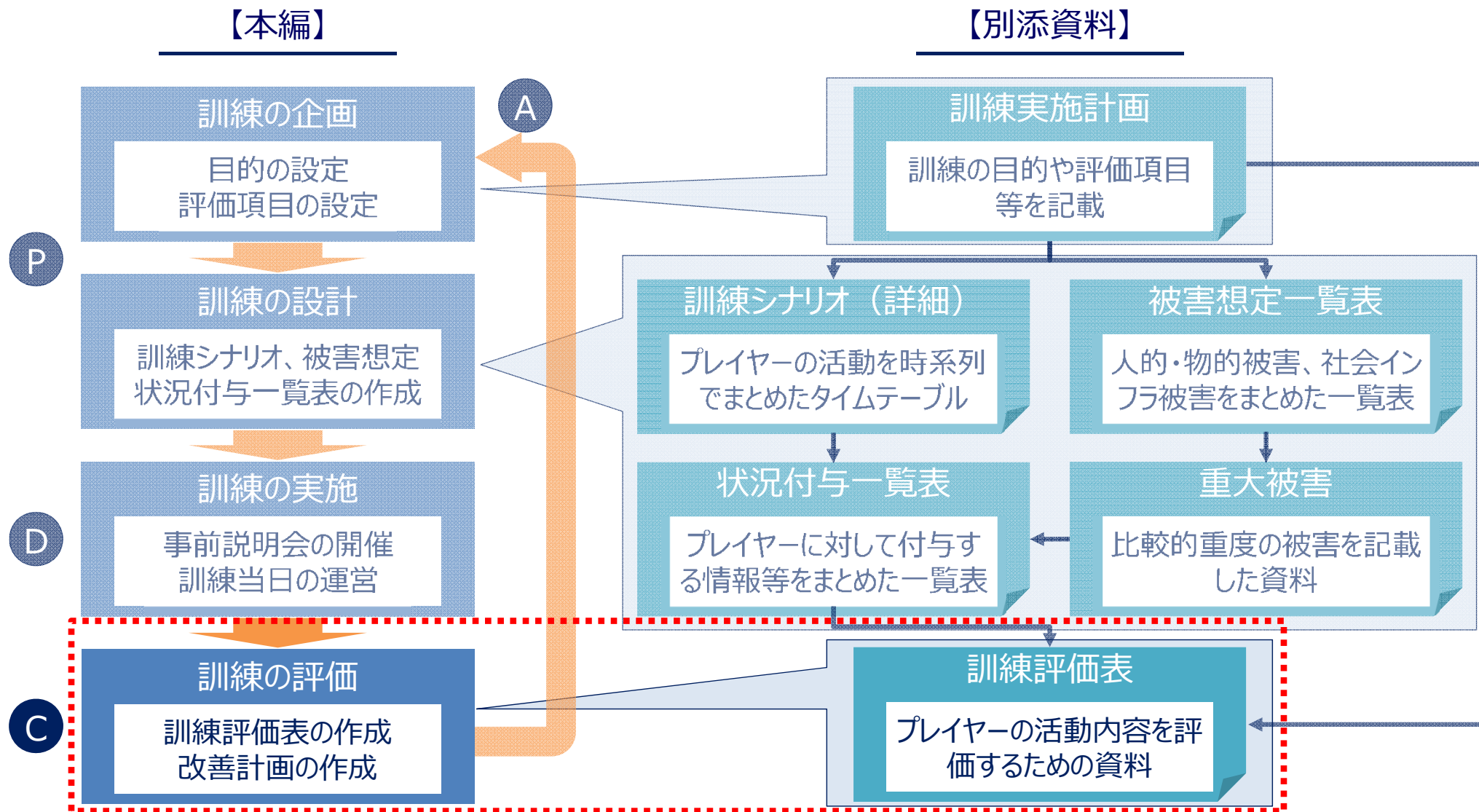
役割に応じたピブスを用意

■ 注意事項
訓練のためだけに新たな備品は用意せずに、普
段の災害対応で使用する予定としている備品を活
用し、過不足や使い勝手について訓練を通じて検
証する。

5. 訓練の評価

■ 訓練の評価

訓練の評価は、下図の赤枠のステップである。



■ 評価の実施

- 評価の方法
 - 第三者による評価（緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員を含む）
 - プレイヤー（指名された者）による評価
- 第三者評価の視点は、大きく2つある。1つ目は、プレイヤーが「期待する活動」を実施できたかを評価する。2つ目は、実施した活動が十分であったか、課題はなかったかを評価する。
- 第三者評価に加え、プレイヤー側にも評価員を配置し、主観的な視点から評価を行うことも効果的な方法である。例えば、災害対策本部長や各班の班長、指揮支援隊長等を評価員に指名し、自班・自隊の活動を評価する。

■ 訓練の振り返りの実施

- 訓練後、必ず訓練の振り返りを実施する。
- 訓練の振り返りでは、まず初めに各班にて短時間で振り返りを実施し、班としての課題を抽出する。その後、各班の班長から振り返り結果を、全ての訓練参加者に対して発表する。また、災害対策本部長などを務めた参加者は、講評として訓練全体の反省や課題、今後について発表する。
- 評価項目に対する評価結果は、時間が経過すると共感性が薄れてしまうため、評価員から振り返りの場で共有することが望ましい。

■ アンケートの実施

- 訓練参加者には、別途アンケートを配付することも重要である。アンケートでは、プレイヤー自身の活動を振り返るほか、次回実施する訓練への要望やアイデアを募ることが有効である。
- なお、アンケートはプレイヤーのみならず、コントローラーに対しても実施し、訓練実施方法に課題がなかったか確認する。
- アンケートは、訓練が終了後、すぐに配付し、その場で回収することが望ましい。

■ 改善計画の作成

訓練で抽出された課題に対しては、訓練終了後に改善されなければ、訓練を実施した意義が大きく失われる。しかしながら、一度に全ての課題を改善すること困難であることから、取組の優先順位と改善までのスケジュールを決めることが重要である。

緊急消防援助隊 地域ブロック合同訓練
図上訓練企画・実施マニュアル【別添資料】
— 訓練資料作成の手引き —

平成30年 3月
消防庁 広域応援室

1. 訓練の企画

訓練実施計画

2. 訓練の設計

2-1. 訓練シナリオ（詳細版）

2-2. 被害想定一覧表（全般）

2-3. 被害想定一覧表（人的・物的被害）

2-4. 被害想定一覧表（社会インフラ被害）

2-5. 被害想定一覧表（交通インフラ被害）

2-6. 重大被害事象推移表

2-7. 状況付与一覧表

2-8. 部隊進出状況一覧表

3. 訓練の評価

訓練評価表

参考資料①：重大被害事象の考え方

参考資料②：状況付与カードの作成方法

参考資料③：ニューススライドの作成方法

1. 訓練の企画

■ 資料の概要

訓練実施計画は、【本編】「2. 訓練の企画」で検討した訓練の目的、評価項目、訓練参加者等訓練の全体像について記入する。そのため訓練担当者は、まず初めに訓練実施計画を作成する。

■ 資料の作成目的

- 幹部に対するレクチャーで使用する説明資料
- 訓練参加者（コントローラー、プレイヤー）に対する事前研修会で使用する説明資料
- 訓練当日の参観者に対する説明資料

■ 使用者

- 訓練担当者
- 訓練参加者（コントローラー、プレイヤー）

資料の作成 (1/2)

項目		内容	
1	訓練日時	平成●●年●●月●●日 09時00分~12時30分(所要3時間30分)	
2	訓練方法	状況付与型図上訓練(ブラインド訓練)	
3	向上が期待される能力 重点評価項目	向上が期待される能力	重点評価項目
		都道府県及び消防本部における「受援力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> 発生した災害の規模・特殊性から、消防本部、県内消防応援隊、自衛隊災害派遣部隊等の充分性を比較し、緊急消防援助隊の応援要請を判断できるか。応援要請を行う際、緊急消防援助隊が行うべき、具体的な活動内容まで検討できるか(応援要請の判断) 進出拠点、拠点までの進出ルートを緊急消防援助隊が検討できるよう、必要な情報を収集し、報告できるか。その他、緊急消防援助隊の活動に必要な情報を収集し、効果的に共有できるか(受援体制の確立)
		指揮支援隊の部隊運用に関する「調整力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> 余震や降雨等を考慮し、活動中の部隊の活動中止基準及び進出拠点や宿営場所の安全性について検討、決定することができるか(安全確保の検討) 余震等により新たに発生した災害の規模に合わせ、応援の増隊、減隊、移動の検討 航空機の運用調整等、警察や自衛隊、DMAT等と役割分担、活動調整を実施できるか(関係機関との連携)
4	訓練想定 ※プレイヤーには非公表	前震	平成●●年●●月●●日 09時00分 ●●を震源とする最大震度5強の地震発生
		本震	平成●●年●●月●●日 09時45分 ●●を震源とする最大震度6強の地震発生
		余震	平成●●年●●月●●日 11時45分 ●●を震源とする最大震度6弱の地震発生
5	評価方法	別紙「訓練評価表」による第3者評価	

ブラインド訓練の場合には、コントローラーに対してのみ訓練想定を開示する。

項目	作成方法
① 訓練方法	シナリオを事前に一部開示する場合は、「状況付与型図上訓練（一部ブラインド訓練）」と記入
② 向上が期待される能力 重点評価項目	独自に設定する場合は追記
③ 評価方法	独自に評価方法を用いる場合は追記

■ 資料の作成 (2/2)

項目		内容	
6	訓練会場	都道府県庁	プレイヤー 県庁●階 災害対策本部室
			コントローラー 県庁●階 第●会議室
	消防本部	プレイヤー	消防本部●階 作戦室
		コントローラー	消防本部●階 第●会議室
7	訓練参加機関	①	都道府県、○○県大隊（コントローラーとして参加）、○○市消防本部、●●市消防本部、消防庁警察本部、医機関・DMAT、自衛隊、防災航空隊、その他関連機関
8	中止基準	②	「訓練開始●時間前に県内にて震度4以上を観測する地震が発生した場合、訓練を中止する。訓練の中止決定は●●（決定権者）にて実施する。」
9	服装	③	活動服
10	その他、備考		

項目		作成方法
①	訓練参加機関	個人名ではなく、機関を記入。プレイヤーではなくコントローラーとしてのみ参加する機関には「●●（機関名）（コントローラーとして参加）」など、参加形態が分かる様に記入
②	中止基準	訓練の中止判断を行う基準（いつ、どれくらいの規模）、中止の決定権者を明確にする。訓練当日に災害等が発生した際、訓練参加者が災害対応に専念できるよう、訓練を中止する旨を伝達する方法についても記入
③	服装	防災服や活動服着用の要否、ビブスや腕章等を用意している場合はその旨を記入

2. 訓練の設計

■ 資料の概要

- 訓練シナリオ（詳細版）は、【本編】「3. 訓練の設計」で検討した訓練シナリオ（概要版）の内容について、より細かな時間軸（概ね5-10分程度）における各機関の活動（想定されるもの）について記入する。
- 関係機関間の情報や指示、問い合わせのやり取りについても記入し、特にプレイヤーとなる消防応援活動調整本部、指揮支援本部、緊急消防援助隊に対して行われる情報提供や指示、問い合わせを明確にし、状況付与一覧表の作成につなげる。

■ 資料の作成目的

- 状況付与一覧表を作成する際の検討資料
- やり取りの多い時間（訓練が逼迫する時間）の洗い出し

■ 使用者

- 訓練担当者
- コントローラー

資料の作成

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
9:00	★訓練開始					
9:00	★地震（前震）発生（最大震度5強）	○指揮本部設置 ●通信指令室より被害状況の報告 ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ○被害状況と自消防本部の消防力を比較し、県内応援隊及び緊急消防援助隊の要否を検討	●気象庁（気象台）より地震の状況の連絡 ○災害対策本部設置 ●受援都道府県災害対策本部に対して火災・災害等即報要領に基づく被害状況の報告を依頼（～9:30） ○被害状況の収集・集約 ●受援都道府県災害対策本部に対して緊急消防援助隊の要否について検討を依頼 ○被害状況と県内の消防力を比較し、緊急消防援助隊の要否を検討	●応援都道府県に対して可能隊数の報告及び出動準備を依頼 ○出動可能隊数の確認及び出動準備を実施	☆災害対策本部設置 ●受援都道府県災害対策本部に対して火災・災害等即報要領に基づく被害状況の報告を依頼（～9:30） ●受援都道府県災害対策本部に対して緊急消防援助隊の要否について検討を依頼 ●応援都道府県に対して可能隊数の報告及び出動準備を依頼	●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）
9:10		○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ○県内応援隊及び緊急消防援助隊の要否を検討	○被害状況の収集・集約	○出動可能隊数の確認及び出動準備を実施	☆被害状況の収集・集約	☆県警本部長を長とする災害警備本部を設置 ●県警本部長より機動隊に対して災害警備の指示、県警LOが都道府県庁に向けて出発（9:30到着予定）

項目	作成方法	備考
① 時間	訓練シナリオ（概要版）より細かい時間軸を設定。なお、「訓練ベースモデル」では10分間隔にて作成	状況付与が逼迫する可能性のある訓練冒頭は5分間隔にするなど訓練の進行に合わせ間隔を調整
② 訓練統制 (主なイベント)	地震の発生、指示した活動の実施期限など訓練の進行に関係する情報を記入	—
③ プレイヤー	プレイヤーの主体ごとに行動や判断を記入	コントローラーによる付与は赤字、プレイヤーの想定される活動は青字
④ コントローラー	コントローラーの主体ごとに行動や判断を記入	コントローラーとして状況付与を行う部分は赤字、実災害では実施されるが訓練では実施しない活動は黒字

■ 資料の概要

- 被害想定一覧表は、発生する人的・物的被害、インフラ被害についてまとめたものである。
- 人的・物的被害は、想定震度分布を踏まえ、被害の全体像を想定する「人的・物的被害」と被害の推移を想定する「人的被害推計・物的被害推計」の2種類がある。
- インフラ被害は、地域ごとに発生している被害「社会インフラ被害」と「交通インフラ被害」の2種類がある。
- 上記の想定をもとに、状況付与一覧表を作成する。

■ 資料の利用目的

- 状況付与一覧表を作成する際の検討資料
- プレイヤーからの問い合わせに対してコントローラーが応答するための手持ち資料

■ 使用者

- 訓練担当者
- コントローラー

■ 資料の作成

- 各種資料を作成する際、最初に震源地を設定し、地震の震度分布を設定する。また、海域に震源地を設定する際は、津波の浸水域を決定する。
- 「訓練ベースモデル」では、前震（震度5強）、本震（震度6強）、余震（震度6弱）の3つの地震が発生する。
- 緊急消防援助隊の増隊や移動、関係機関との連携を促すために発生させる余震については、例えば被害が発生すると広範囲に影響を及ぼす重要インフラ（石油コンビナート、化学薬品工場等）や土砂災害警戒区域が所在する地域を震源とする。

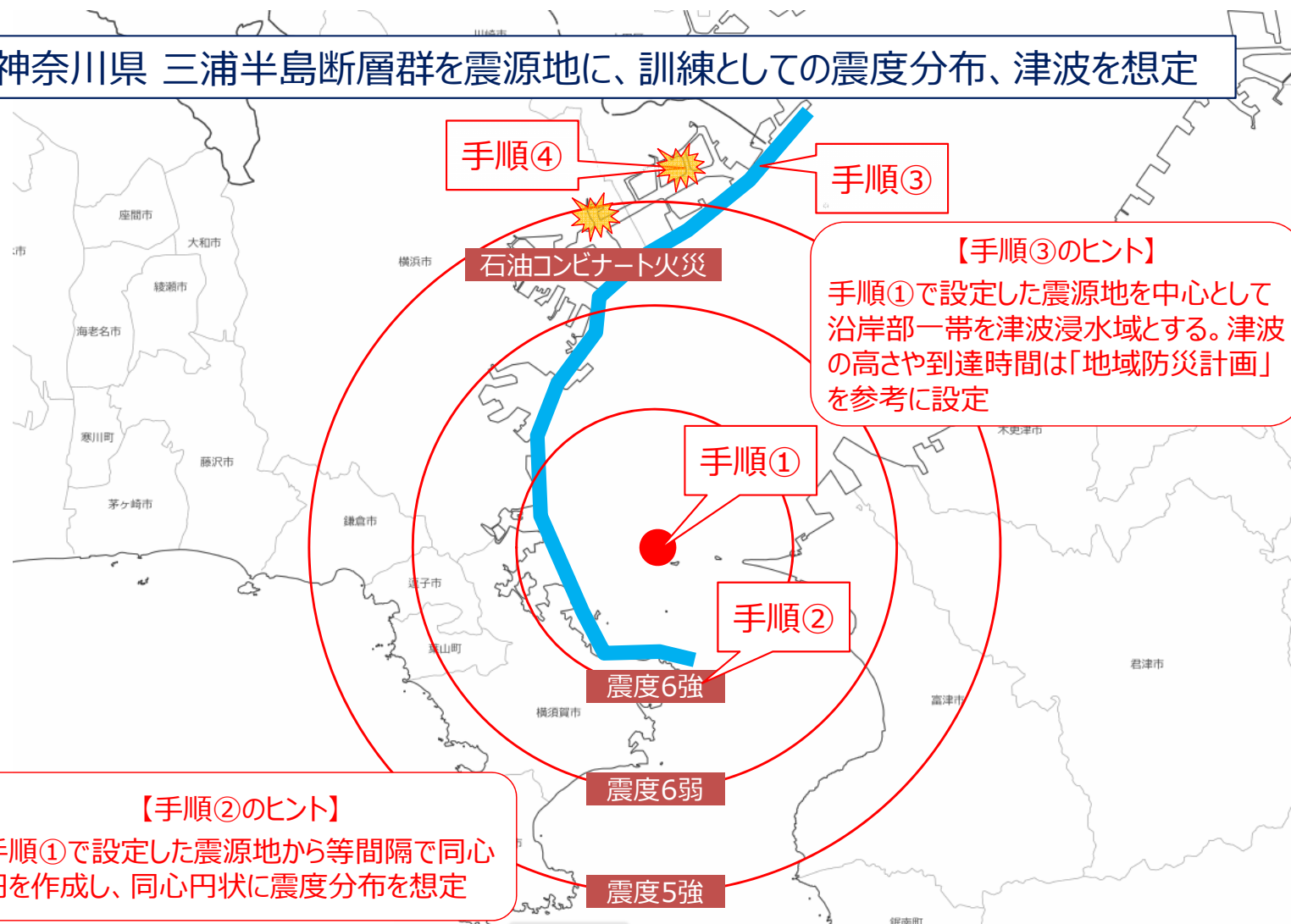
【震度分布の例】

	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4以下
前震	緊急消防援助隊の迅速出動の対象になるため、設定しない		A市、B市	C市、D市	E市、F市
本震	A市、B市	C市、D市	E市、F市	G市、H市	I市、J市
余震	E市、F市	A市、B市	C市、D市	E市に重要インフラや土砂災害警戒区域がある場合	

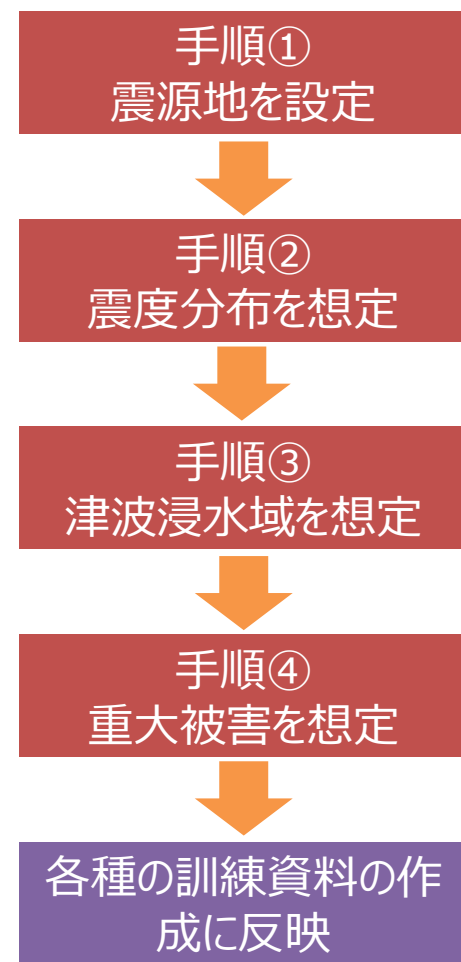
■ 資料の作成

想定震度分布とシナリオ概要版を元に、プレイヤーが訓練中に作成する地図と同様、被害の全体像を把握するための地図を作成する。

神奈川県 三浦半島断層群を震源地に、訓練としての震度分布、津波を想定



【訓練資料作成手順】



【手順②のヒント】
手順①で設定した震源地から等間隔で同心円を作成し、同心円状に震度分布を想定

【手順③のヒント】
手順①で設定した震源地を中心として沿岸部一帯を津波浸水域とする。津波の高さや到達時間は「地域防災計画」を参考に設定

資料の作成（人的・物的被害）

#	位置情報			被害情報			救助・救急、消火活動情報					時間		
	市町村	町丁目	地区/施設/建物	覚知の時間	被害の様相	人的被害	対応消防本部/消防署	出場部隊(隊数)				現着	活動開始	活動終了
								救助隊	救急隊	消火隊	その他部隊(部隊名と隊数)			
例	〇〇市	〇〇番地	〇〇ビル	9時10分	建物倒壊	数名は建物の破片に巻き込まれた	〇〇市消防本部、●消防署	2隊	1隊			9時15分	9時30分	14時00分
例	〇〇市	〇〇番地	〇〇地区	9時10分	未造密集地で住宅の延焼火災	負傷者(やけど)3名。逃げ遅れ	〇〇市消防本部、▲消防署		2隊	2隊		9時15分	9時30分	18時00分

プレイヤーとして参加している消防本部の部分は記入不要

項目	作成方法
① 地区/施設/建物	できるだけ具体的な施設や建物を記入。延焼火災等の広域災害については地区名を記入
② 覚知の時間	住民や施設管理者からの119番通報等を受けた時間を記入
③ 被害の様相	建物被害（全壊、半壊）、火災等の被害についてできるだけ詳細に想定を検討し、記入
④ 人的被害	物的被害によって生じた人的被害についてできるだけ詳細に想定を検討し、記入
⑤ 現着、活動開始	各部隊で到着時間、活動開始時間が異なる場合、それぞれの部隊に記入
⑥ 活動終了	

資料の作成（人的被害推計）

#	市町村	死傷者	訓練開始からの覚知の推移									
			9:00	9:10	9:20	9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30
			0:00	0:10	0:20	0:30	0:40	0:50	1:00	1:10	1:20	1:30
1	〇〇市	合計：	32	59	90	123	154	187	216	248	274	305
		死者：			2	2	4	6	6	8	8	10
		重症者：	2	4	8	16	20	26	30	35	36	40
		中等症者：	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
		軽症者：	20	35	50	65	80	95	110	125	140	155

項目	作成方法	備考
① 合計	合計は、下欄に死者、重症者等の数字を記入すると自動で計算される計算式を設定済	—
② 時間軸	訓練時間と発災からの時間経過を記入	状況付与が逼迫する可能性のある訓練冒頭は5分間隔にする等訓練の進行に合わせ間隔を調整
③ 被害者数	人的被害を記入。限られた時間の中で訓練を滞りなく進行させるため、実災害に比べて人数も多く、早期に覚知されると想定	死者や重症者は1桁単位、中等症者や軽症者は2桁単位の粒度感で想定すると効率的
④ レスポンスタイム	—	例えば、10時00分にプレイヤーから“現在判明している県内全域（または特定の市町村）の人的被害が知りたい”との問い合わせがあった場合、コントローラーは本資料の10時00分の欄に記入された被害を回答

資料の作成（物的被害推計）

#	市町村	被害状況	訓練開始からの覚知の推移									
			9:00	9:10	9:20	9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30
			0:00	0:10	0:20	0:30	0:40	0:50	1:00	1:10	1:20	1:30
1	〇〇市	合計：	16	16	16	22	22	63	63	63	80	80
		全壊：						5	5	5	5	5
		半壊：	5	5	5	5	5	24	24	24	24	24
		出火：	11	11	11	17	17	34	34	34	51	51
		水没/埋没：										

項目	作成方法	備考
① 合計	合計は、下欄に全壊、半壊等の数字を記入すると自動で計算される計算式を設定済	—
② 時間軸	訓練時間と発災からの時間経過を記入	状況付与が逼迫する可能性のある訓練冒頭は5分間隔にする等訓練の進行に合わせ間隔を調整
③ 被害建物数	物的被害を記入。限られた時間の中で訓練を滞りなく進行させるため、実災害に比べて被害も多く、早期に覚知されると想定	—
④ レスponseタイム	—	例えば、10時00分にプレイヤーから“現在判明している県内全域（または特定の市町村）の物的被害が知りたい”との問い合わせがあった場合、コントローラーは本資料の10時00分の欄に記入された被害を回答

資料の作成（社会インフラ被害）

#	基本情報			インフラ被害											
	市町村	地区/町丁目	地震	通信		電気		ガス		上水道		下水道			
				被害	復旧見込	被害	復旧見込	被害	復旧見込	被害	復旧見込	被害	復旧見込	被害	復旧見込
例	〇〇市	全域	前震	通話可能	—	通話可能	—	通電	—	供給継続	—	供給継続	—	供給継続	—
			本震	不通	1日後	不通	1日後	停電	3日後	供給停止	1週間後	供給停止	1週間後	供給停止	1週間後
			余震	不通	1日後	不通	1日後	停電	3日後	供給停止	1週間後	供給停止	1週間後	供給停止	1週間後
			前震												
			本震												
			余震												

項目	作成方法	備考
① 地区/町丁目	被害が市町村の全域にわたる場合は、全域と記入	—
② 地震	それぞれの地震で発生する地域別社会インフラ被害を記入	なお、前震の段階で機能が停止している場合、本震、余震の欄の記入は不要。本震の場合も同様
③ 通信	通話可能、不通、一部不通、輻輳のいずれかを記入。基地局の被害や停電による機能停止を起因により発生	復旧見込は、訓練中に復旧する場合は時刻を記入。訓練時間内に復旧しない場合は、未定または〇日後でも良い。
④ 電気	通電の有無を記入。発電所の機能停止、送電線の断線、電柱の破損を起因により発生	
⑤ ガス	供給の継続、停止を記入。都市ガスの場合、供給所の機能停止やガス管の破損を起因により発生	
⑥ 上下水道	供給の継続、停止を記入。浄水場、ポンプ場等の水道施設の機能停止、送水管の破損を起因により発生	

資料の作成（交通インフラ被害）

#	位置情報		覚知の時間	被害の様相	対応	迂回路/振替輸送の設定有無		
	国道/県道/市道/路線等	区間				有無	区間	
例	〇〇高速道路	① PA/IC～〇〇PA/IC	9時10分	橋梁破損	② 通行止め	③	無	④ —
例	〇〇国道	〇〇交差点～〇〇交差点	9時10分	信号停止	警察による迂回路設定		有	〇〇交差点～〇〇交差点
例	〇〇鉄道〇〇線	〇〇駅～〇〇駅	9時10分	レール破損	路線全面運行停止		無	—

項目		作成の際のポイント	備考/上記例以外の記入例
①	区間	被害が発生している区間を記入	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路：〇〇PA/IC～〇〇PA/IC 国道等の一般道：〇〇交差点～〇〇交差点 鉄道：〇〇駅～〇〇駅
②	被害の様相	道路や線路、道路施設、鉄道施設の被害を記入	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路：路面損傷（亀裂、段差発生等）、橋梁破損・落橋・倒壊、ジョイント部欠損、PA/ICの施設破損等 国道等の一般道の場合：路面損傷（亀裂、段差発生等）、橋梁破損・落橋・倒壊、信号停止（停電、信号機の破損等を事由とする）、多重事故（高速道路も同様） 鉄道：レール破損、トンネル破損・天井落下、駅等鉄道施設破損、鉄道信号システム停止、列車脱線事故
③	対応	被害に対して、道路管理事務所や鉄道事業者の対応、消防に対する応援要請（多重事故、列車脱線事故）の要否を記入	—
④	迂回路/振替輸送の設定有無	<ul style="list-style-type: none"> 迂回路/振替輸送の設定の有無、設定完了時刻を記入 迂回路/振替輸送を設定する場合は、区間を記入 	コントローラーは、プレイヤーより迂回路/振替輸送の設定状況について問い合わせを受けた場合、設定完了時刻までは「設定中」と回答。設定完了時刻以降は、「設定済み」と設定区間を回答

■ 資料の概要

- 重大被害事象推移表は、主に余震によって発生し、規模が大きく、また通常の消防部隊では対応が困難な特殊災害等、訓練の進行を左右する被害の様相を記入した資料
- これまでに作成した一覧表に記入する被害とは異なり、被害が甚大かつ対応が困難な被害であるため、一覧表として記入するだけでなく、個別シートを作成する。
- 「訓練資料（テンプレート）」としては、津波、石油コンビナート火災、土砂災害及びNBC災害（化学薬品災害）を用意している。

■ 資料の作成目的

- 状況付与一覧表を作成する際の検討資料
- プレイヤーからの問い合わせに対してコントローラーが応答するための手持ち資料

■ 使用者

コントローラー

資料の作成

被害概要(シナリオ)	9時に〇〇県で発生した最大震度5強の地震により、A石油コンビナート等特別防災区域においても震度5強を観測したが、各事業所において異常は確認できない。しかし、9時45分に発生した震度6強の地震によりA事業所内のAタンク（浮屋根式屋外貯蔵タンク、貯蔵危険物：原油）から原油が漏洩し、防油堤内で火災が発生する。また、スロッシングによりタンク上部においてもリム火災が発生するが、A石油コンビナート等特別防災区域を管轄する消防本部では、市街地への対応により当該火災に対応できず、10時30分に全面火災へ進展する。この時点で、広域共同防災組織間の相互応援協定に基づき、他ブロックの広域共同防災組織へ大容量泡放射システムを要請する。さらに、11時45分に発生した震度6弱の地震により、A事業所内のBタンク（浮屋根式屋外貯蔵タンク、貯蔵危険物：ナフサ）においてもリム火災が発生するが、同じく消防劣勢のため、12時15分に全面火災へ進展する。		
被害発生場所	地図を掲載		
被害や部隊活動の推移	時間推移	被害の推移	部隊活動の推移
	09:00 ~09:29	【09時00分】 震度5強の地震が発生	【09時20分】 地震の発生により、A石油コンビナート等特別防災区域の各事業所にあるタンクの異常の有無を確認し、自衛防災組織より異常がないことを〇〇市消防本部及び県災害対策本部に報告
	09:30 ~09:59	【09時45分】 震度6強の地震によりA事業所内のAタンクにおいて危険物の漏洩及びリム火災が発生	【09時55分】 自衛防災組織より被害状況を〇〇市消防本部及び県災害対策本部に通報 管轄消防本部は市街地での活動により対応が困難
	10:00 ~10:29	延焼中（鎮圧の目途立たず）	【10時20分】 管轄消防本部より要請を受けた代表消防機関から3点セット（大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車）が現場に向けて出発
	10:30 ~10:59	【10時30分】 当初リム火災であったAタンクが全面火災へ進展	【10時35分】 広域共同防災組織間の相互応援協定に基づき、他ブロックの広域共同防災組織へ大容量泡放射システムの応援出動を要請
	11:00 ~11:29	依然、延焼中（鎮火の目途立たず）	【11時00分】 代表消防機関の3点セットが現場に到着 消火活動開始
	11:30 ~11:59	【11時45分】 震度6弱の地震発生 A事業所内のBタンクにおいてもリム火災が発生	【11時45分】 2基目のタンク火災発生により、再び消防力が劣勢
12:00 ~12:30	【12時15分】 当初リム火災であったB火災が全面火災へ進展		

被害の特徴や原因、被害が発生する予兆等を記入

地震が発生する前から被害が発生する予兆（例、土砂災害であれば前日の大雨等）について記入
特段記入する予兆等の情報がない場合は記入不要

【本資料の利用】
例えば、11時50分にプレイヤーより“現在判明している被害や部隊の活動状況が知りたい”等の問い合わせがあった場合、コントローラーは本資料の11時30分～11時59分の欄に記入された情報を回答

■ 資料の概要

- ブラインド訓練では、プレイヤーに対して事前にシナリオを開示しないため、訓練中に必要な情報（被害状況、緊急消防援助隊の出発・進出状況等）、活動を求める指示・要請等を付与する必要がある。
- 上記付与を滞りなく実施するためには、“誰が(付与元)”、“誰に(付与先)”、“いつ(付与時刻)”、“どのように(付与方法)”、“何を(付与内容)”を付与するかについて一覧表で整理する必要がある。
- また、状況付与担当が実際にどのような状況付与を実施するのか、一覧表において役割を明確にすることも重要である。
- なお、コントローラー(特に状況付与担当)は、状況付与一覧表をもとに状況付与を行うが、状況付与担当の人数が多い場合は、状況付与一覧表に加え、状況付与カードを作成し、それぞれの状況付与担当に配布すると円滑な状況付与が可能となる。

■ 使用者

- 訓練担当者
- コントローラー

資料の作成

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
1	① 訓練統制		② 訓練統制	9時00分	③ 付与条件なし (定時付与)	④ 訓練参加者	口頭/館内放送 (実態に合わせ記入)	地震発生。●●地区で「震度5強」が観測されました。各署所においては大規模災害時における初動体制を整えてください。なお、庁舎は停電となりましたが、非常電源設備は正常に作動しましたので、庁舎内における電気機器の使用は可能です。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
2	応援要請の判断		消防庁	9時00分	付与条件なし (定時付与)	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●●●(震央地名)で最大震度5強を観測したため、消防庁内危機管理センター内に災害対策本部(第3次応急体制)を設置しました。迅速な被災地の被害状況の確認を行い、「火災・災害等即報要領」に基づき、第1報を30分以内に送付をお願いします。また、緊急消防援助隊等の応援要請については迅速な対応をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
3	応援要請の判断		消防庁	9時40分	付与条件なし (定時付与)	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●●●(震央地名)で最大震度6強を観測したため、迅速な被災地の被害状況の確認を行い、「火災・災害等即報要領」に基づき、第1報を30分以内に送付をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
4	応援要請の判断		消防庁	11時00分	付与条件なし (定時付与)	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●●●(震央地名)で最大震度6弱を観測したため、迅速な被災地の被害状況の確認を行い、「火災・災害等即報要領」に基づき、第1報を30分以内に送付をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

項目	作成の際のポイント	備考
① 状況付与担当	訓練当日に状況付与を行う担当者を記入	付与担当者の名前や役割名がある場合は役割名を記入
② 付与元	情報源。被害情報であれば通信指令課、119番、住民、事業者等。その他、県内各機関や消防庁が該当	—
③ 付与条件	定時付与と条件付き付与の2種類より選択。条件付き付与はプレイヤーが条件を満たす活動を行った場合に付与	付与条件としてプレイヤーの活動を記入。記入例：○○が●●をした場合に付与
④ 付与先	プレイヤーのこと。班名までできるだけ詳細に記入	—

資料の作成

訓練	カード連番	通番を入力→	1
	検証項目	応援要請の判断	

状況付与指示書

付与担当	0	—	
付与元	訓練統制	付与時間	9時00分
付与先	訓練参加者	付与方法	口頭/館内放送 (実態に合わせ記入)
付与条件	定時付与		
添付資料	添付資料なし		

【付与内容】

こちらは、 訓練統制 です。 訓練、これは訓練です 地震発生。●●地区で「震度5強」が観測されました。各署所においては大規模災害時における初動体制を整えてください。なお、庁舎は停電となりましたが、非常電源設備は正常に作動しましたので、庁舎内における電気機器の使用は可能です。
備考/メモ

テンプレートにはあらかじめ関数を入力済み。状況付与一覧表の通番を入力することで、各項目に状況付与一覧表の記載内容が自動で転記される。

状況付与指示書の作成は、テンプレートのようにExcel関数を利用する場合のほか、Wordの差し込み印刷でも効率的に作成可能。詳細は本紙参考資料を参照

■ 資料の概要

- 部隊進出状況一覧表は、訓練中に出勤する緊急消防援助隊の移動状況を把握するための資料である。
- 記入する部隊は、指揮支援（部）隊、統合機動部隊、都道府県大隊、航空小隊のほか、必要に応じてエネルギー・産業基盤災害即応部隊などの部隊を追加する。
- 統合機動部隊及び都道府県大隊にあっては、図上訓練と部隊進出を連動させないため、訓練シナリオを踏まえて到着時間を設定する。
- ただし、指揮支援部隊にあっては、プレイヤーとして図上訓練に参加することから、訓練シナリオを踏まえるとともに十分な活動時間が確保できるように到着時間を設定する。

■ 資料の作成目的

- 状況付与一覧表を作成する際の検討資料
- プレイヤーからの問い合わせに対してコントローラーが応答するための手持ち資料

■ 使用者

- 訓練担当者
- コントローラー

資料の作成

#	都道府県	緊急消防援助隊	部隊進出状況															
			進出に関する情報				進出状況(9時45分に緊急消防援助隊が出発、統合機動部隊は時速35km、都道府県大隊は時速30kmで進出)											
			出動場所	出動時間	着陸場所/進出拠点	距離	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30
例	〇〇県	指揮支援(部)隊	〇〇ヘリポート	9:45	〇〇飛行場	—	出発	〇〇到着	県庁到着									
		統合機動部隊	〇〇市消防局	10:30	〇〇駐車場(進出拠点)	70km				出発	〇〇周辺	〇〇SA	〇〇周辺	〇〇PA	〇〇周辺	〇〇SA	〇〇周辺	到着
		都道府県大隊	〇〇公園(集結場所)	12:30	〇〇公園(進出拠点)	90km				集結中	集結中	集結中	集結中	集結中	集結中	集結中	集結完了	出発
		航空小隊	〇〇ヘリポート	9:45	〇〇飛行場	—	出発	〇〇上空	到着									
		ドラゴンハイパー	〇〇市消防局	13:40	〇〇石油コンビナート	70km												
1		指揮支援(部)隊																
		統合機動部隊																
		都道府県大隊																
		航空小隊																
		その他(ドラゴンハイパー等)																

項目	作成方法	備考
① 緊急消防援助隊	部隊種別ごとに記入	—
② 出動場所	都道府県大隊は定められた集結場所を、航空機を活用する部隊であれば、空港や飛行場、ヘリベースなどを記入	—
③ 出動の求め又は指示	消防庁が出動の求め又は指示を行った時間を記入	—
④ 着陸場所/進出拠点	航空機を活用する部隊であれば着陸場所を、陸上部隊であれば進出拠点を記入	「緊急消防援助隊受援計画」をもとに記入。なお、進出拠点については、消防庁が消防応援活動調整本部と調整の上、各隊へ連絡するため、変更となる可能性がある。
⑤ 距離	出動場所と進出拠点/着陸場所との距離を算出して記入	陸上部隊であればWebから算出、航空機を活用する部隊であれば移動間の直線距離を算出
⑥ 進出状況	記入された各時間の進出状況を記入	時間軸は訓練の設計により自由に変更する。全ての時間に対して進出状況を記入する必要はない。

3. 訓練の評価

■ 資料の概要

- 訓練評価表は、訓練評価員がプレイヤーの活動を評価するために使用する資料である。
- 訓練評価表では、訓練ごとに「評価の観点」を設定する。
- 評価は、訓練の中でプレイヤー行った活動が「評価の観点」に対して「よくできた」、「できた」、「あまりできていない」及び「できていない」の4段階で評価する。なお、評価指標に記入された活動をプレイヤーが実施していない場合は、未実施として評価する。
- また、プレイヤーの活動に対して課題を抽出することも訓練評価表の目的であるため、検証項目ごと及び訓練全体についての課題を記述する欄を設けている。

■ 資料の作成目的

プレイヤーの訓練中の活動の評価

■ 使用者

訓練評価員

資料の作成

#	検証項目	評価の観点	評価					発見された課題
			評価軸(該当する方にチェック)					
1	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、発生している災害と自消防力の関係の分析を実施したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
2	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、警察や自衛隊の災害派遣部隊の活動勢力の勘案したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
3	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、緊急消防援助隊に期待する具体的な活動内容の検討・報告したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
4	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な情報を、消防応援活動調整本部と指揮支援本部の間で共有したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
5	受援体制の確立	到着した指揮支援部隊/式指揮支援隊に対して、地図等を用いるなどして収集した情報を共有したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
6	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な進出拠点の所在及び進出ルートについて検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
7	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な進出拠点との連絡体制について検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	

項目		作成方法
①	検証項目	訓練の検証項目を記入
②	評価の視点	プレイヤーが何を達成すべきなのか、またプレイヤーが達成すべき目標となる活動に着目して記入
③	評価	「よくできた」、「できた」、「あまりできていない」及び「できていない」の4段階評価。プレイヤーが期待する活動を実施していない場合は、「未実施」として評価

参考資料①：重大被害事象の考え方

■ 概要

- 重大被害とは、プレイヤーに緊急消防援助隊の部隊運用を判断させるためのイベントである。訓練モデルにおいて、最も大きな影響のある重大被害は、余震及び余震に起因する被害とする。
- 図上訓練を企画する際、訓練参加者が手持ち無沙汰にならず、活発な活動ができるよう、訓練開始の中盤から終盤にかけて発生させることが望ましい。一方、訓練の時間が1~2時間程度の比較的短いものであれば、序盤に発生させ、訓練の主要イベントとして位置付けることが望ましい。
- 「図上訓練マニュアル」では、以下の目的を達成するため、重大被害を訓練シナリオに盛り込む。
 - 消防庁に対して、緊急消防援助隊の増隊を要請するため
 - 活動している緊急消防援助隊に対して、部隊の移動を要請・指示するため
 - 関係機関と活動内容を調整するため
- 「図上訓練マニュアル」では、下記の重大被害を盛り込んでいる。
 - 津波
 - 石油コンビナート火災
 - 土砂災害
 - 化学薬品工場からの薬品漏洩(NBC災害)

■ 津波の特徴

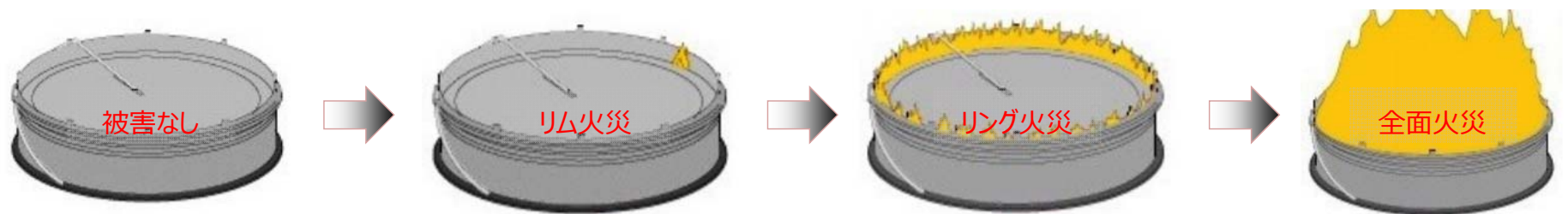
- 訓練シナリオにおいて津波を想定する場合、下記の訓練を実施することが望ましい。
 - 海上漂流者に対する救助活動に必要な関係機関の調整(特にヘリによる救助活動)
 - 津波警報下における部隊の活動の中止基準、避難時の周知方法、避難場所等の検討
 - (低地にある場合)都道府県庁、消防本部等消防活動に必要な施設の被災
- 津波は地震発生後の第一波以降、連続して到達するため、訓練時間中に警報を発令し続けることは可能である。しかし、部隊の活動に大きな制限が生じるため、訓練の冒頭、または中盤に警報を解除することが望ましい。なお、警報の基準は、下表のとおり。

種類	発表基準		想定される被害
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	3m < 予想の高さ	木造家屋が全壊・流失、人は津波による流れに巻き込まれる
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	1m < 予想の高さ ≤ 3m	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	0.2m < 予想の高さ ≤ 1m	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆

■ 石油コンビナート火災の特徴

- 石油コンビナート火災のシナリオの特徴は、通常の消防部隊の対応を超えること、つまりはより専門的な消防部隊の応援を要請が必要となることである。特に、エネルギー・産業基盤災害即応部隊の応援要請につながることである。
- また、各都道府県大隊においても、特殊災害小隊としていわゆる3点セット（大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車）を保有しているため、部隊移動や増隊を検討することにつながる。
- さらに、全面火災に発展するおそれがある場合には、大容量泡放射システムの手配など応援要請及び運用が期待される。
- 時間の経過とともに、被害の規模が大きくなることから、迅速な意思決定と情報提供が求められるため、時間の制約のある訓練の中でも比較的成果を出しやすい災害である。

(被害の拡大のイメージ)



■ 部隊登録状況(平成29年4月現在)

千葉県、静岡県、三重県、兵庫県、岡山県及び鹿児島県に配備

※平成30年度末までに北海道及び神奈川県に配備予定

■ 部隊編成

エネルギー・産業基盤災害即応部隊長

・消防機関の推薦に基づき、消防庁長官が別に定め、指揮隊を編成

エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊

・特殊災害に知見を有し、指揮及び情報の収集伝達・通信等を担当する隊員で編成

必ず編成

特殊災害中隊

・無償使用車両(大型放水砲車、大容量放水ポンプ車)及び3点セット(大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車)で編成

消火中隊

・化学消防ポンプ自動車で編成

地域の
実情に
応じて
編成

特殊装備中隊

水上小隊

後方支援小隊

通信支援小隊

・「都道府県大隊の出動を伴わずに単独で出動」や「都道府県大隊を編成する小隊として出動した後に別名を受けて、エネルギー・産業基盤災害即応部隊を編成し、都道府県大隊とは別の被災地に出動すること」等、災害状況に応じた柔軟な対応を考慮

・特殊災害に対する消防活動の経験が豊富で、高度かつ専門的な知見を有する消防部隊で編成

■ 土砂災害の概要

土砂災害とは、大雨や地震等を起因とする下記の総称である。

- 斜面崩壊(がけ崩れ及び土砂崩れ)…山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる現象
- 土石流…山腹や川底の石や土砂が集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される現象
- 地すべり… 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象

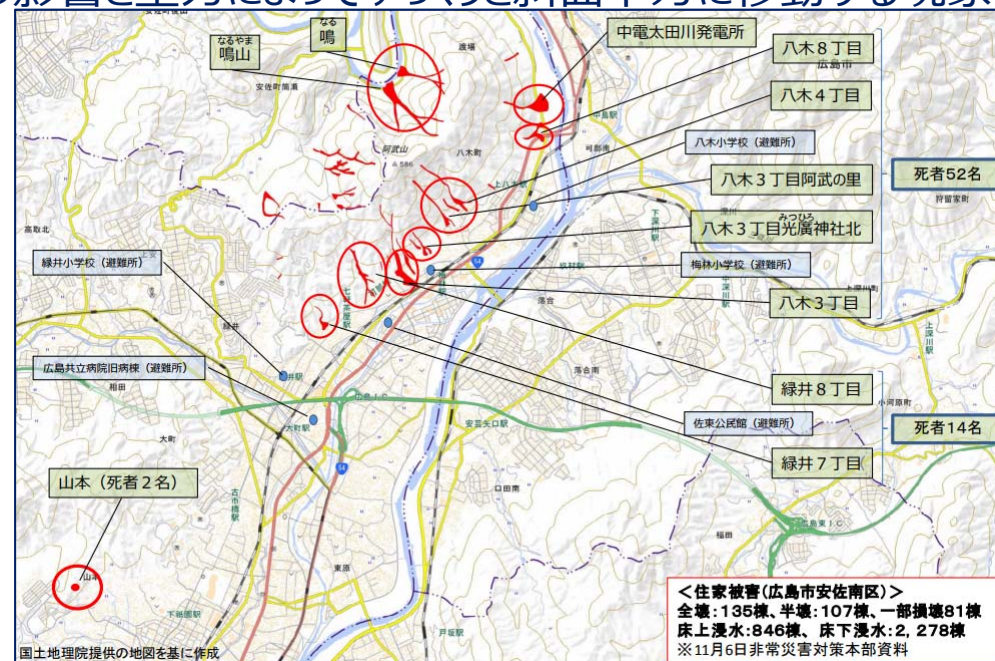
■ 事例：平成26年8月広島市の土砂災害

● 被害の概要

- 人的被害：死者74人
- 物的被害：全壊174戸、半壊187戸

● 被害の特徴

- 犠牲者が出た世帯の家屋のほとんどは倒壊
- 倒壊した家屋は、斜面付近に立地



【出典】

・内閣府(防災担当)「平成26年8月20日に発生した広島市土砂災害の概要」(平成26年12月4日)
(URL : <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/dosyaworking/pdf/dai1kai/siryu2.pdf>)

■ 土砂災害の特徴

- 石油コンビナート火災が石油コンビナートの所在が必須条件であるのに対して、土砂災害のシナリオは、山間部があれば日本中のいかなる地域（都心部を除く。）で発生させることができるため、シナリオとしての汎用性が比較的高い。
- 土砂を除去するためには、重機が必要となり、消防庁をはじめ関係機関等に対して重機の派遣要請を行うことが必要となる。そのため、関係機関との連携について検証することができる。
- また、山間部の道路を通行止めにする事で、道路を管理する道路管理者、警察、自衛隊等と連携が必要となり、迂回路の設定や道路啓開（緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けること）の要請が必要となる。
- さらに、余震により土砂災害を多発させることで、緊急消防援助隊の安全管理のあり方や余震発生時の緊急避難の周知方法、避難場所の指定等についても検証することができるため、緊急消防援助隊の活動に係る多様な検証が可能である。

■ NBC災害の特徴

- NBC災害とは、核(Nuclear)、生物(Biological)、化学(Chemical)の3つの災害の総称である。
- 「図上訓練マニュアル」では、上記3種類の災害のうち、化学薬品工場からの薬品漏洩を化学災害として重大被害事象の対象とする。
- 災害対処としては、石油コンビナート火災と同様に、通常の部隊では対処困難な特殊災害であるため、毒劇物対応小隊を中心に（県内応援隊、緊急消防援助隊を含む）応援要請を行う必要がある。

■ 化学災害の特徴

化学剤の効果は、気象条件にも依存する。主な気象条件としては下表のようなものがある。

気象条件	効果
風	・有…拡散 ・無…滞留
雨	・加水分解や希釈により効果が低下
湿度	・高…蒸発 ・低…残存
大気	・昼間は大気温が地上付近の空気よりも低く、空気の対流が発生し、拡散

■ 化学剤の特徴

化学剤は、物理的特徴から持久性のものと一時性のものに大別できる。

区分(例)	特性
持久性ある化学剤	・揮発性が低くゆっくり蒸発する ・放出後長時間残存する ・沸点が高く、揮発性が低い物質ほど、残存しやすい ・加水分解が低い
一時性の化学剤	・揮発性が高く速やかに蒸発する ・放出後すぐ拡散し、長時間残存しない ・沸点が低く、蒸気圧が高い物質ほど、残存しにくい ・加水分解が高い

【出典】

・総務省消防庁「平成28年度 消防・救助技術の高度化等検討会報告書」第2編「化学災害又は生物災害時における消防機関が行う活動マニュアル」(URL : http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h28/terro_taiou/houkoku/houkokusyo.pdf)

■ 重大被害の例

● 化学薬品工場からの薬品流出のシナリオ

〇〇地区に所在する〇〇化学〇〇工場のプラントで、爆発を伴う火災が発生。現在も延焼中。工場内で勤務していた作業員〇人が火災に巻き込まれている模様。有毒ガスの発生は未確認ながら、周囲に強い臭気を覚知。作業員からの聞き取りによると、作業員1名が爆発の際に飛び散った薬品を浴びた模様。いまだ救助できない。貯蔵している薬品は〇〇。今回の爆発により、工場を中心に周囲の建物で、窓ガラスが割れる等の被害を確認。なお、周囲にて火災は確認されておらず。

※2012年4月に発生した山口県岩国市 三井化学工場爆破事故を参考

● 化学薬品を積載した車両事故のシナリオ

- 国道(または県道)〇号を走行中の〇〇化学所属のトラックが、地震の影響により横転。積載していた薬品(〇〇、〇ℓ)が漏洩。周囲〇mにわたり、薬品が漏洩している。
- 〇〇橋を走行中の〇〇化学所属のトラックが、地震の影響により横転。積載していた薬品(〇〇、〇ℓ)が漏洩。橋の下を流れる〇〇川に、薬品が漏洩している。現在、川下に向かい、薬品が拡散している。

● (訓練の設計上のポイント)

- 都道府県の環境衛生部門と連携した漏洩対策
- 毒劇物対応小隊の派遣要請、増隊要請

参考資料②：状況付与指示書の作成方法

■ 手引きの必要性

- 「状況付与一覧表」にて作成した状況付与を、「状況付与指示書」を作成するには、大変な労力が発生する。また、修正が必要な場合、修正漏れが発生する可能性も高い。
- 効率的かつ正確に「状況付与一覧表」の内容を「状況付与指示書」に転記・反映するには、
「Microsoft Excel」や「Word」の機能を最大限に活用し、「状況付与一覧表」の内容を自動で「状況付与指示書」に転記する環境を構築することが有効である。
- 手引きにおいて紹介する自動転記の方法は、下表の方法である。
 - ・ 「Excel」の関数を活用した自動転記
 - ・ 「Word」の機能を活用した自動転記

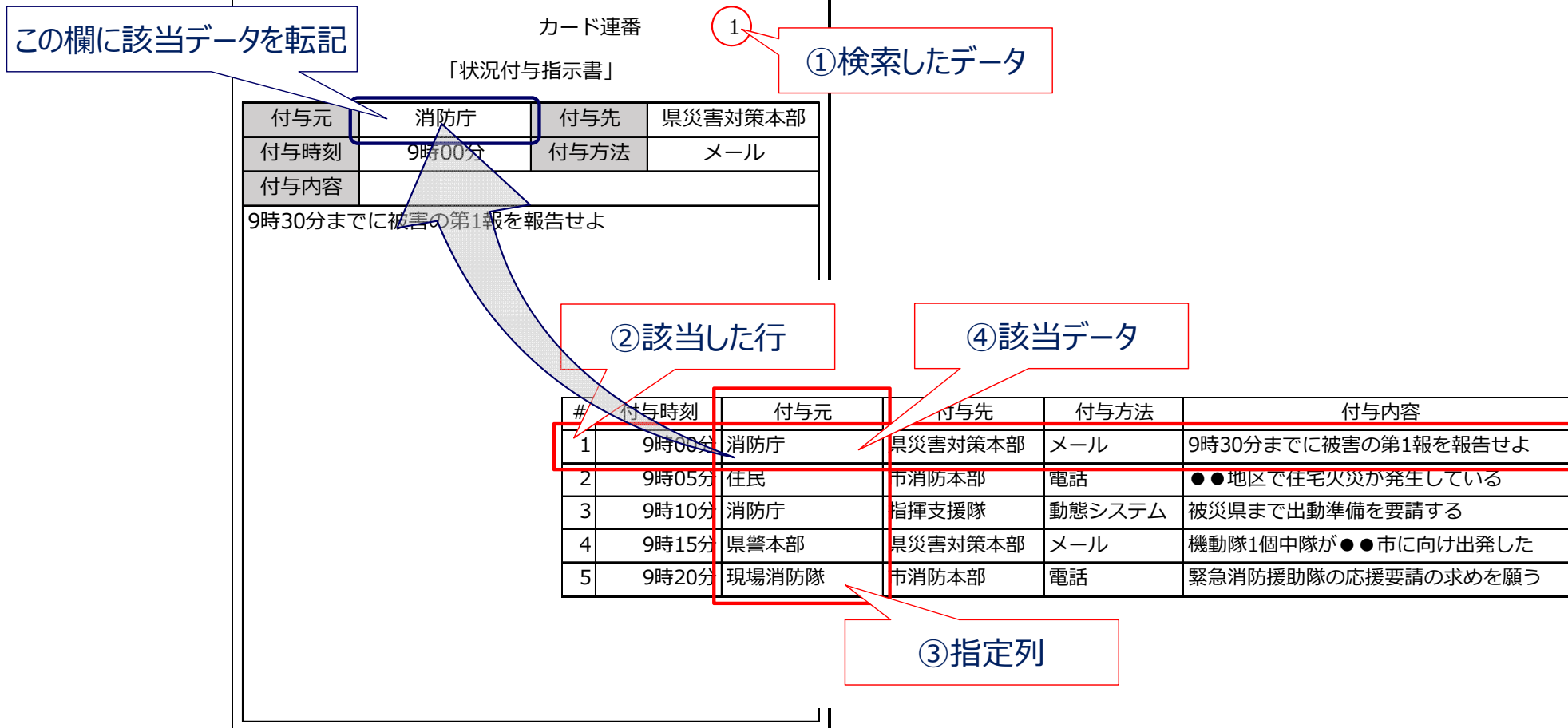
自動転記の方法	メリット	デメリット
「Excel」の関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した状況付与の内容を同時に確認できる ・ Excelファイルにて一覧表とカードを管理できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況付与カードの印刷は各カード個別のため、印刷時に労力が必要となる
「Word」の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 膨大な数の状況付与であっても、1回の設定でカードの作成・印刷が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況付与の内容を修正する度に設定する必要があるため、最終版を確定しない限り設定ができない



状況付与カードのイメージの確認は「Excel」で実施
状況付与カードの印刷時に「Word」の機能を活用

■ 自動転記のイメージ

- 「Excel」の関数の1つである「VLOOKUP関数」を活用することで、「状況付与一覧表」を作成した同じ「Excel」ファイルの中に、別シートとして「状況付与指示書」を作成することができる。
- 「VLOOKUP関数」とは、①検索したデータに②該当した行の③指定列から④該当データを取り出すことのできる関数である。下記図は、関数のイメージである。



■ 自動転記までの流れ

「VLOOKUP関数」の設定は、下記のとおりである。

① Excelにて状況付与一覧を作成する
(「図上訓練マニュアル」を参考に作成)



② 同じExcelの別シートにて状況付与カードの枠を作成する
(添付したテンプレートを活用)



③ 状況付与一覧表とカードの項目を関数にてリンクさせる
(次頁以降を参考として設定)

■ 「VLOOKUP関数」の設定

「VLOOKUP関数」の式は、下記のとおりである。

=VLOOKUP(検索するデータ、検索されるデータの範囲、列位置、FALSE)

例① =VLOOKUP(B12, B3:G8, 4, FALSE)

【重要ポイント】

検索されるデータの範囲の設定は、検索したデータの所在する列(今回はB列)より開始

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		元データ					
3		連番	申請品目	使用日	金額	使用者	領収書
4		1	交通費	9月1日	200	A	なし
5		2	通信費	9月2日	3,000	B	あり
6		3	備品費	9月3日	1,500	C	なし
7		4	交通費	9月4日	500	D	なし
8		5	消耗品費	9月5日	1,000	F	あり
9							
10		転記先データ					
11		連番	申請品目	金額	使用者		
12		①	交通費	200	A		

検索されるデータの範囲

列位置
(例：データ範囲の左端の列(B列)より4列目)

検索したデータ

所在する列

この欄に該当データを転記

■ 自動転記のイメージ

- 「Excel」の関数を活用した自動転記は、同じ「Excel」ファイル上で「状況付与一覧表」と「状況付与指示書」を管理できるため、資料の修正が迅速にできる利点がある。
- しかしながら、必要な欄ごとに該当するデータを入れる関数(「VLOOKUP関数」)を入力する必要があり、「状況付与一覧表」の列番号や行番号が変更されるたびに、「状況付与指示書」の関数を修正する必要があるため、日々メンテナンスを行うことが求められる。
- また、複雑な関数式やマクロ式を入れない限り、一度に作成できる「状況付与指示書」は1枚である。膨大な件数の状況付与がある場合は、「状況付与指示書」の作成工数を抑制するため、同時に複数枚の指示書を作成できることが必要である。それを可能にするのが、「Word」の差し込み印刷機能である。

#	付与担当	付与時刻	付与条件	付与元	付与先	付与内容	付与方法	添付資料
1								
2								
3								
4								
5								
6								

「Microsoft Excel」で作成した「状況付与一覧表」

「差し込み印刷」機能
で自動転記

「Microsoft Word」で作成した「状況付与指示書」テンプレート
※別添で【モデル】を用意

■ 自動転記までの流れ

差し込み印刷の設定は、下記のとおりである。

① Excelにて状況付与一覧を作成する
(「図上訓練マニュアル」を参考に作成)



② Wordにて状況付与カードの枠を作成する
(添付したテンプレートを活用)



③ Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する
(次頁以降を参考として設定)



④ 状況付与カードの必要な箇所に、状況付与一覧の該当データを反映させる
(次頁以降を参考として設定)

■ ステップ③ : Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する。

①「差し込み印刷」タブをクリック

②「差し込み印刷ウィザード」タブをクリック

カード No.

状況付与カード

付与元		付与先	
付与時刻		付与方法	
件名			
内容			
こちらは、			です。

1/1 ページ 52 文字 日本語

22:17 2017/09/15

■ ステップ③ : Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する。

10. 課題抽出型訓練_状況付与カード(モデル)_170621_01 - Word

差込み印刷の開始

レター

③「レター」を選択

付与元	付与先
付与時刻	付与方法
件名	
内容	
こちらは、	です。

④「次へ」を選択

手続 1/6
→ 次へ: ひな形の選択

■ ステップ③ : Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する。

10. 課題抽出型訓練_状況付与カード(モデル)_170621_01 - Word

差込み印刷の開始

状況付与カード

付与元		付与先	
付与時刻		付与方法	
件名			
内容			
こちらは、		です。	

⑤「現在の文書を使用」を選択

⑥「次へ」を選択

■ ステップ③ : Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する。

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the 'References' task pane open on the right. A red box highlights the '参照...' (References...) button. A large orange arrow points from this button to the '参照...' button in the 'References' task pane. A red callout box with the text '⑦「参照」を選択' (Select 'References') points to this button. Below the 'References' task pane, a '新しいソース(S)...' (New Source...) dialog box is open, showing a list of data sources. A red callout box with the text '⑧参照したいデータを選択' (Select the data you want to reference) points to the 'すべてのデータソース' (All Data Sources) option. In the bottom right corner, a red callout box with the text '⑨「次へ」を選択' (Select 'Next Step') points to the '次へ: レターの作成' (Next Step: Create Letter) button in the 'References' task pane.

⑦「参照」を選択

⑧参照したいデータを選択

⑨「次へ」を選択

■ ステップ③ : Wordの差し込み印刷機能を開き、状況付与一覧とのリンクを設定する。

⑪ 選択したデータの内容について正誤を確認

⑩ 参照したいシートを選択

⑫ 「次へ」を選択

名前	説明	更新日時
4_訓練シナリオ \$ _xlnm#Print_Area		4/23/2017 11:32:08 AM
4_訓練シナリオ \$ _xlnm#Print_Titles		4/23/2017 11:32:08 AM
Sa_状況付与一覧(県作成分)\$		4/23/2017 11:32:08 AM
Sa_状況付与一覧(県作成分)\$ _xlnm#_Fi...		4/23/2017 11:32:08 AM
Sa_状況付与一覧(県作成分)\$ _xlnm#Prin...		4/23/2017 11:32:08 AM
Sb_状況付与一覧(消防本部作成分)\$		4/23/2017 11:32:08 AM

データソース	通番	検証項目	付与時刻	付与条件	付与担
消防庁_緊...	1	訓練統制	8:30:00 AM	付与条件なし(定時付与)	訓練統...
消防庁_緊...	2	応援要請の判断	8:32:00 AM	付与条件なし(定時付与)	訓練統...
消防庁_緊...	3	応援要請の判断	8:32:00 AM	付与条件なし(定時付与)	訓練統...
消防庁_緊...	4	応援要請の判断	8:35:00 AM	付与条件なし(定時付与)	消防庁
消防庁_緊...	5	部隊活動の支援	8:35:00 AM	付与条件なし(定時付与)	消防庁
消防庁_緊...	6	受援体制の確立	9:00:00 AM	付与条件なし(定時付与)	消防庁
消防庁_緊...	7	応援要請の判断	9:05:00 AM	緊援隊の応援要請が行...	消防庁
消防庁_緊...	8	応援要請の判断	9:10:00 AM	付与条件なし(定時付与)	(業態に...

手順 3/6
→ 次へ: レターの作成
← 戻る: ひな形の選択

■ステップ④：状況付与カードの必要な箇所に状況付与一覧の該当データを反映させる。

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the 'Insert Data Field' dialog box open. The dialog box has 'Database Field (D)' selected. The list of fields includes '付与元', '付与時刻', '件名', and '付与内容'. The '挿入 (I)' button is highlighted. The table in the background has the following content:

付与元	
付与時刻	
件名	
付与内容	
こちらは、	です。

Annotations in red boxes and arrows point to specific elements:

- ⑭ 差し込みたいフィールド(項目)を選択 (Select the field/item you want to insert) - points to '付与元' in the table.
- ⑮ 項目毎に選択したら「挿入」を選択 (After selecting each item, select 'Insert') - points to the '挿入 (I)' button in the dialog box.
- ⑯ 差し込みフィールドを選択 (Select the data field) - points to the '差し込みフィールドの挿入...' button in the right sidebar.
- ⑰ (全ての項目の挿入が完了すれば)「次へ」を選択 (If all items are inserted, select 'Next') - points to the '次へ: レターのプレビュー表示' button in the bottom right.

■ステップ④：状況付与カードの必要な箇所に状況付与一覧の該当データを反映させる。

②①「すべて」を選択し、カードを生成

①⑦挿入した項目のプレビュー結果が表示

①⑧内容に問題がないか確認

①⑨「次へ」を選択

付与元	訓練統制	付与先	訓練参加者
付与時刻	8:30:00・AM	付与方法	口頭/館内放送 (実態に合わせ記入)
件名			
内容			
こちらは、	です。		

参考資料③：ニューススライドの作成方法

■ ニューススライドの役割

- 訓練では、できる限り実災害を体感できるように、臨場感が重要な役割を果たす。臨場感の一翼を担う工夫として、訓練中に流れる緊急地震速報などのニュース映像である。
- ニュース映像を作成する手順は下記のとおり。
 - アナウンサー役が原稿を読み上げ、その状況をビデオ撮影。MP3、M4Vやなどの拡張子で保存
 - Microsoft Power Pointにニュース画面、録音したアナウンスを張り付け、自動投影



■ 作成のステップ

差し込み印刷の設定は、以下のステップにて実施する。

① Power Pointでニューススライドをデザインする
(添付したモデル版を活用)



② 各スライドに被害や天候、警報など必要情報を入力する
(次頁以降を参考として設定)



③ 必要なスライドに動画や音声を挿入する
(次頁以降を参考として設定)



④ スライドの画面切り替え設定を行う
(次頁以降を参考として設定)

■ ステップ②：各スライドに被害や天候、警報など必要情報を入力する。

下記のフォーマットに必要情報を入力する。以下は入力の例。

震度6強:〇〇 震度6弱:〇〇、〇〇、〇〇

〇〇時〇〇分

震度情報や社会インフラの被災状況など、コンスタントに提供される情報

〇〇県 最大震度〇を観測

被災状況を表す地図や写真、震度分布図や津波警報の図など、視覚的に表現したい情報

政府の活動状況、重要インパクト事象の情報など、特に提供したい情報
(文章として詳細に付与)

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

スライドに動画や音声を挿入するため、Power Pointに「開発」ツール(タブ)を登録する。

①「ファイル」タブを選択

②「オプション」を選択

③「リボンのユーザー設定」を選択

④「開発」にチェック

PowerPointのオプション

基本設定
文章校正
保存
文字体裁
言語
簡単アクセス
詳細設定
リボンのユーザー設定
クイック起動
アドイン

コマンドの選択(C): ①
基本的なコマンド

リボンのユーザー設定(B): ②
メインタブ

配布資料マスター
ノートマスター
背景の削除
ホーム (マスター表示)
ホーム
グループボード
スライド
フォント
段落
図形描画
編集
挿入
デザイン
画面切り替え
アニメーション
スライドショー
校閲
表示
表示
開発
ヘルプ

新しいグループ(N) 名前の変更(M)...

リセット(E) ①
インポート/エクスポート(E) ①

OK キャンセル

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

「開発」タブより、取り組む動画の拡張子を選択する。

①「コントロールの選択」を選択

②「Windows Media Player」を選択

コントロールの選択

- Tabular Data Control
- TaskSymbol Class
- SystemEvmControl Class
- SystemUpdateActiveXAdapter Class
- VideoRenderCtrl Class
- VSSTO FormRegionsHostX
- VSSTO WinFormsHost Control
- Windows Media Player
- Windows Store Remote Desktop Client Control - Version 1
- WorkspaceBrokerAx Class

カスタムコントロールの登録(B)... OK キャンセル

マウス ボタンを押しながらドラッグするとコントロールが挿入されます。

20:39 2017/10/30

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

「挿入」タブより、取り組む動画を選択する。

The screenshot shows the Microsoft PowerPoint interface. The 'Insert' tab is active, and the 'Video' button is highlighted with a red box. A red arrow points from the 'Video' button to a 'ビデオの挿入' (Insert Video) dialog box. The dialog box shows a file explorer view of the 'Videos' folder, with a video file named 'アナウンサー動画.wmv' selected. A red box highlights the selected video file, and a red arrow points to it. A red callout box contains the text: '①「ビデオ」→「このコンピューター上のビデオ」を選択' (1. Select 'Video' -> 'Videos on this computer'). Another red callout box contains the text: '②取り組む動画を選択する' (2. Select the video to be inserted). The status bar at the bottom shows the date and time as 20:50 on 2017/10/30.

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

ビデオツールの再生タブより、動画をスライド切り替え時に自動的に再生できるように加工する。

The screenshot displays the Microsoft PowerPoint interface with the 'ビデオ ツール' (Video Tools) ribbon selected. The '再生' (Playback) tab is active, showing various video control options. A red box highlights the '開始: 自動(A)' (Start: Automatic) option, with a red arrow pointing to it and the text '①「自動」を選択' (1. Select 'Automatic'). The main slide area shows a video player with a news anchor and a '訓練' (Training) label. The video player has a progress bar and a volume icon. The status bar at the bottom shows 'スライド 1/1', '日本語', and the system tray with the date '2017/10/30' and time '21:06'.

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

「挿入」タブより、取り組む音声を選択する。

①「オーディオ」→「このコンピューター上のオーディオ」を選択

②取り組む音声を選択する

■ ステップ③：必要なスライドに動画や音声を挿入する。

オーディオツールの再生タブより音声をスライド切り替え時に自動的に再生できるように加工する。

①「自動」を選択

■ ステップ④：スライドの画面切り替え設定を行う。

画面切り替えタブより、スライド切り替えできるように加工する。

②切り替えを行う時間を入力

①「自動的に切り替え」にチェック

④画面切り替えが設定されているスライドには、設定した時間が明記

③スライド一覧を確認

訓練実施計画

項目		内容		
1	訓練日時	平成●●年●●月●●日 09時00分～12時30分(所要3時間30分)		
2	訓練方法	状況付与型図上訓練(ブラインド訓練)		
3	向上が期待される能力 重点評価項目	向上が期待される能力	重点評価項目	
		都道府県及び消防本部における「受援力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> 発生した災害の規模・特殊性から、消防本部、県内消防応援隊、自衛隊災害派遣部隊等の充分性を比較し、緊急消防援助隊の応援要請を判断できるか。応援要請を行う際、緊急消防援助隊が行うべき、具体的な活動内容まで検討できるか(応援要請の判断) 進出拠点、拠点までの進出ルートが緊急消防援助隊が検討できるよう、必要な情報を収集し、報告できるか。その他、緊急消防援助隊の活動に必要な情報を収集し、効果的に共有できるか(受援体制の確立) 	
		指揮支援隊の部隊運用に関する「調整力」の向上	<ul style="list-style-type: none"> 余震や降雨等を考慮し、活動中の部隊の活動中止基準及び進出拠点や宿営場所の安全性について検討・決定することができるか(安全確保の検討) 余震等により新たに発生した災害の規模に合わせ、応援の増隊、既に配置された部隊を移動させることを検討・決定することができるか(増隊/移動の検討) 航空機の運用調整等、警察や自衛隊、DMAT等と役割分担、活動調整を実施できるか(関係機関との連携) 	
4	訓練想定 ※プレイヤーには非公表	前震	平成●●年●●月●●日 09時00分 ●●を震源とする最大震度5強の地震発生	
		本震	平成●●年●●月●●日 09時45分 ●●を震源とする最大震度6強の地震発生	
		余震	平成●●年●●月●●日 11時45分 ●●を震源とする最大震度6弱の地震発生	
5	評価方法	別紙「訓練評価表」による第3者評価		
6	訓練会場	都道府県庁	プレイヤー	県庁●階 災害対策本部室
			コントローラー	県庁●階 第●会議室
		消防本部	プレイヤー	消防本部●階 作戦室
			コントローラー	消防本部●階 第●会議室
7	訓練参加機関	都道府県、○○県大隊(コントローラーとして参加)、○○市消防本部、●●市消防本部、消防庁 警察本部、医機関・DMAT、自衛隊、防災航空隊、その他県関連機関		
8	中止基準	「訓練開始●時間前に県内にて震度4以上を観測する地震が発生した場合、訓練を中止する。訓練の中止決定は●●(決定権者)にて実施する。」		
9	服装	活動服		
10	その他、備考			

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
9:00	★訓練開始					
9:00	★地震（前震）発生（最大震度5強）	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮本部設置 ●通信指令室より被害状況の報告 ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ○被害状況と自消防本部の消防力を比較し、県内応援隊及び緊急消防援助隊の要否を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●気象庁（气象台）より地震の概況の連絡 ○災害対策本部設置 ●受援都道府県災害対策本部に対して火災・災害等即報要領に基づく被害状況の報告を依頼（～9:30） ○被害状況の収集・集約 ●受援都道府県災害対策本部に対して緊急消防援助隊の要否について検討を依頼 ○被害状況と県内の消防力を比較し、緊急消防援助隊の要否を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●応援都道府県に対して可能隊数の報告及び出動準備を依頼 ○出動可能隊数の確認及び出動準備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ☆災害対策本部設置 ●受援都道府県災害対策本部に対して火災・災害等即報要領に基づく被害状況の報告を依頼（～9:30） ●受援都道府県災害対策本部に対して緊急消防援助隊の要否について検討を依頼 ●応援都道府県に対して可能隊数の報告及び出動準備を依頼 	
9:10		<ul style="list-style-type: none"> ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ○県内応援隊及び緊急消防援助隊の要否を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○被害状況の収集・集約 	<ul style="list-style-type: none"> ○出動可能隊数の確認及び出動準備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ☆被害状況の収集・集約 	<ul style="list-style-type: none"> ☆県警本部長を長とする災害警備本部を設置 ●県警本部長より機動隊に対して災害警備の指示、県警LOが都道府県庁に向けて出発（9:30到着予定）
9:20		<ul style="list-style-type: none"> ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ○県内応援隊及び緊急消防援助隊の応援要否の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●県警本部より道路の被害状況、緊急交通路に関する情報を連絡 ○被害状況の収集・集約 <p>【この時点で応援要請が行わなかった場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊の要否について確認 ○被害状況と被災地消防本部及び県内応援隊の消防力を比較し、緊急消防援助隊の要否を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○出動可能隊数の確認及び出動準備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ☆被害状況の収集・集約 <p>【この時点で応援要請が行わなかった場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊の要否について確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●県警本部より道路の被害状況、緊急交通路に関する情報を連絡
9:30		<ul style="list-style-type: none"> ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●警察及び代表消防機関のLOが到着 ○LOに対して被害状況の報告 ○被害状況の収集・集約 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防庁へ出動可能隊数の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ☆被害状況の収集・集約 ☆応援都道府県より可能隊数報告を受領 	<ul style="list-style-type: none"> ●自衛隊の災害派遣部隊の出動、自衛隊LOが都道府県庁に向けて出発（9:50到着予定）

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
9:40	★地震（本震）発生（9:45、最大震度6強）	<ul style="list-style-type: none"> ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 【この時点で応援要請が行わなかった場合】 ●消防応援活動調整本部より緊急消防援助隊の迅速出動区分Ⅱ適用の連絡 ○受援体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●気象庁（気象台）より地震の概要と今後の余震に関する連絡 ○活動（進出）中の部隊の安全確認 ●受援都道府県災害対策本部に対して被害状況の報告を依頼 ○被害状況の収集・集約 【この時点で応援要請が行わなかった場合】 ●最大震度6強を観測したことを受け、消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の迅速出動の区分Ⅱ適用の連絡 ○被災地消防本部に対して緊急消防援助隊の迅速出動区分Ⅱ適用の連絡と受援体制の構築を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 【この時点で応援要請が行わなかった場合】 ☆消防庁より迅速出動による出動の求めを受けて出動 	<ul style="list-style-type: none"> ●受援都道府県災害対策本部に対して被害状況の報告を依頼 【この時点で応援要請が行わなかった場合】 ●最大震度6強を観測したことを受け、消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の迅速出動の区分Ⅱ適用の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ●県警本部長より警察庁に対して警察災害派遣隊の応援要請 ●DMATの出動準備、統括DMAT（または災害医療コーディネーター）が都道府県庁に向けて出発 ●EMIS「災害モード」ON、患者受け入れ可否、受入可能数の連絡
9:50		<ul style="list-style-type: none"> ●消防応援活動調整本部より被害状況のとりまとめ及び報告（～10:10）の依頼 ○被害状況をとりまとめ、関係各所に報告 ●消防応援活動調整本部よりヘリコプター離着陸場から県庁までの移動手段の調整 ○自消防本部内で調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●自衛隊のLOが到着 ○LOに対して被害状況の報告 ●震度6弱以上の地域における全域停電による信号機停止、警察官による交通誘導実施の連絡 ●県警本部より一部通行止めの報告 ○関係各所へ情報共有 ●受援都道府県災害対策本部に被害状況のとりまとめと報告を依頼（～10:20） ○消防本部に対して被害状況のとりまとめ及び報告（～10:10）の依頼 ●指揮支援隊の離着陸場と離着陸場から県庁までの移動手段についての確認 ○緊急消防援助隊の受援計画に基づく離着陸場の検討及び移動手段の調整 		<ul style="list-style-type: none"> ☆官邸リエゾンより官邸対策室の非常災害対策本部改組の連絡、第1回政府災害対策本部会議資料の作成を依頼 ●受援都道府県災害対策本部に被害状況のとりまとめと報告を依頼（～10:20） ●指揮支援隊の離着陸場と県庁までの移動手段についての確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●震度6弱以上の地域における全域停電による信号機停止、警察官による交通誘導実施の連絡 ●県警本部より一部通行止めの報告
10:00			<ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊の応援等決定通知の送付 ○被災地消防本部へ共有 ●緊急消防援助隊動態情報システム及び支援情報共有ツールの入力 ○緊急消防援助隊動態情報システム及び支援情報共有ツールの確認 ●指揮支援隊及び都道府県大隊の増隊の必要性について検討を依頼 ○被災地消防本部への指揮支援隊の増隊を検討 ○被害状況に見合った都道府県大隊の増隊を検討 		<ul style="list-style-type: none"> ●緊急消防援助隊の応援等決定通知の送付 ●緊急消防援助隊動態情報システム及び支援情報共有ツールの入力 ●指揮支援隊及び都道府県大隊の増隊の必要性について検討を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ●県警本部より高速道路の通行可能な連絡
10:10	☆被害状況のとりまとめと報告期限（消防本部→消防応援活動調整本部）	<ul style="list-style-type: none"> ○消防応援活動調整本部に対して被害状況の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●指揮支援隊出発の連絡 ●自衛隊より消防応援活動調整本部に対して県内消防応援隊、緊急消防援助隊の活動場所、ヘリベースの問い合わせ ○県内応援隊及び緊急消防援助隊の活動場所、ヘリベースのとりまとめ ○被害状況のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ☆消防庁に対して指揮支援隊の到着予定時刻を連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ●指揮支援隊出発の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ●自衛隊より消防応援活動調整本部に対して県内消防応援隊、緊急消防援助隊の活動場所、ヘリベースの問い合わせ ●県警本部より橋の崩落に伴う通行止めの報告

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
10:20	☆被害状況のとりまとめと報告期限（消防応援活動調整本部→消防庁）		<ul style="list-style-type: none"> ●消防応援活動調整本部に対して道路に関する被害状況、通行止め情報を連絡 ○被害状況のとりまとめ ○受援都道府県災害対策本部（総括班）を通じて消防庁にとりまとめ結果を報告 		☆受援都道府県災害対策本部よりとりまとめ結果を受領	●消防応援活動調整本部に対して道路に関する被害状況、通行止め情報を連絡（以下、随時連絡）
10:30						
10:40	☆大雨警報、土砂災害警戒情報の発令	<ul style="list-style-type: none"> ○消防応援活動調整本部より大雨警報について連絡を受けて安全管理の基準について協議 ○指揮支援隊と緊急消防援助隊の運用に関する調整を実施し、適時、調整結果を消防庁に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●気象庁(気象台)より大雨警報、土砂災害警戒情報の連絡 ●消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の活動場所、宿営拠点の検討・報告を要請 ○受援計画を確認し、検討 ●警報発令に伴い、安全管理の徹底と二次災害を防止の依頼 ○指揮支援隊と安全管理の基準について協議 ●統合機動部隊の進出拠点に変更の有無を確認 ●進出ルートの被害状況の報告を依頼 ○指揮支援隊と緊急消防援助隊の運用に関する調整を実施 ○適時、調整結果を消防庁に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ☆消防庁に対して統合機動部隊出発の連絡 ○消防応援活動調整本部、指揮支援本部にて部隊の安全管理の基準について協議 ○消防応援活動調整本部、指揮支援本部にて緊急消防援助隊の運用に関する調整を実施し、適時、調整結果を消防庁に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の活動場所、宿営拠点の検討・報告を要請 ●消防応援活動調整本部に対して統合機動部隊出発の連絡 ●警報発令により、安全管理の徹底と二次災害を防止の依頼 ●統合機動部隊の進出拠点に変更の有無を確認 ●進出ルートの被害状況の報告を依頼 	
10:50						

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
11:00	☆指揮支援隊の到着		●指揮支援部隊長が到着 ○指揮支援部隊長への引継ぎを実施	☆指揮支援隊が到着		
11:10						
11:20		●消防応援活動調整本部より被害状況のとりまとめ及び報告（～11:50）の依頼 ○被害状況のとりまとめ及び報告を実施	●都道府県庁災害対策本部に被害状況のとりまとめと報告を依頼（～12:00） ○消防本部に対して被害状況のとりまとめ及び報告（～11:50）の要請		☆官邸リエゾンより第2回政府災害対策本部会議用資料の作成を依頼 ●都道府県庁災害対策本部に被害状況のとりまとめと報告を依頼（～12:00）	
11:30			●消防応援活動調整本部に対して統合機動部隊の進出拠点到着時刻(14:00)を連絡 ○被災地消防本部へ連絡	☆消防庁に対して統合機動部隊の進出拠点到着時刻(14:00)を連絡	●消防応援活動調整本部に対して統合機動部隊の進出拠点到着時刻(14:00)を連絡	

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
11:40	★地震（余震）発生(最大震度6弱) ☆重大被害事象（#1）の発生	○被害状況の収集・集約 ○新たな被害発生に伴う部隊の増隊や移動について検討	●気象庁（気象台）より地震の概況の連絡 ○活動（進出）中の部隊の安全確認 ●受援都道府県災害対策本部に対して被害状況の報告を依頼 ○被害状況の収集・集約 ●重大被害事象の発生 ●重大被害事象発生により、消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の被害状況の報告、新たな被害発生に伴う部隊の増隊や移動の要否について検討を要請 ○被災地消防本部に対して被害状況の確認 ○指揮支援部隊長と協議、検討 ○被害状況を確認し、必要に応じて民間団体に対して重機派遣や水利供給を依頼	☆地震に伴う活動（進出）中の緊援隊の被害（安全）確認	●受援都道府県災害対策本部に対して被害状況の報告を依頼 ●重大被害事象発生により、消防応援活動調整本部に対して緊急消防援助隊の被害状況の報告、新たな被害発生に伴う部隊の増隊や移動の要否について検討を要請	
11:50	☆被害状況のとりまとめと報告期限（消防本部→消防応援活動調整本部）	○消防応援活動調整本部に対して被害状況の報告	○被害状況のとりまとめ ○受援都道府県災害対策本部（総括班）を通じて消防庁にとりまとめ結果を報告			
12:00	☆被害状況のとりまとめと報告期限（消防応援活動調整本部→消防庁）		○被害状況のとりまとめ ○都道府県災害対策本部（総括班）を通じて消防庁にとりまとめ結果を報告		☆受援都道府県災害対策本部よりとりまとめ結果を受領	
12:10						

【凡例】 ●(赤字)・・・コントローラーによる状況付与 ○(青字)・・・プレイヤーの想定される活動 ☆(黒字)・・・実災害において実施される活動（訓練上は実施しない活動）

時間	訓練統制 (主なイベント)	プレイヤー			コントローラー	
		被災地消防本部/指揮支援本部	受援都道府県/消防応援活動調整本部	応援都道府県/緊急消防援助隊	消防庁	警察、自衛隊、DMAT等
12:20						
12:30						
12:30	☆訓練終了					

<p>被害概要(シナリオ)</p>	<p>9時に発生した震度 5 強の地震により若干の潮位変動が有り、気象庁より津波注意報が発令される。9時45分に発生した震度 6 強の地震により津波が発生し、その津波が到達した〇〇港では、漁業関係者より津波にさらわれた関係者がいるとの通報を受け、ヘリコプターにより上空からの検索活動を実施していたところ、海上保安庁より「津波にさらわれたと思われる複数の漂流者を沿岸〇〇kmで発見」との連絡が入る。</p>		
<p>被害発生場所</p>	<p>地図を掲載</p>		
<p>被害や部隊活動の推移</p>	<p>時間推移</p>	<p>被害の推移</p>	<p>部隊活動の推移</p>
	<p>09:00 ~09:29</p>	<p>【09時05分】 9時に発生した震度 5 強の地震により若干の潮位変動有 気象庁より津波警報が発令</p>	<p>【09時10分】 津波警報の発令を受け、津波浸水域の消防本部は、消防団の協力のもと住民の避難誘導を実施</p>
	<p>09:30 ~09:59</p>	<p>【09時45分】 震度 6 強の地震により津波が発生</p>	<p>【09時45分】 津波の状況を確認するため、海上保安庁のヘリコプターが上空から情報収集を実施予定</p>
	<p>10:00 ~10:29</p>		
	<p>10:30 ~10:59</p>	<p>【10時45分】 〇〇港に津波が到達</p>	
	<p>11:00 ~11:29</p>	<p>【11時15分】 〇〇港の漁業関係者より津波にさらわれた関係者がいるとの通報</p>	<p>【11時15分】 ヘリベースにおいて上空からの検索活動について協議</p>
	<p>11:30 ~11:59</p>		<p>【11時45分】 ヘリコプターにより被害状況を確認していた海上保安庁から津波にさらわれたと思われる複数の漂流者を沿岸〇〇kmで発見。</p>
	<p>12:00 ~12:30</p>		

被害概要(シナリオ)	<p>9時に〇〇県で発生した最大震度 5 強の地震により、A石油コンビナート等特別防災区域においても震度 5 強を観測したが、各事業所において異常は確認できない。しかし、9 時 45 分に発生した震度 6 強の地震によりA事業所内のAタンク（浮屋根式屋外貯蔵タンク、貯蔵危険物：原油）から原油が漏洩し、防油堤内で火災が発生する。また、スロッシングによりタンク上部においてもリム火災が発生するが、A石油コンビナート等特別防災区域を管轄する消防本部では、市街地への対応により当該火災に対応できず、10 時 30 分に全面火災へ進展する。この時点で、広域共同防災組織間の相互応援協定に基づき、他ブロックの広域共同防災組織へ大容量泡放射システムを要請する。さらに、11 時 45 分に発生した震度 6 弱の地震により、A 事業所内の B タンク（浮屋根式屋外貯蔵タンク、貯蔵危険物：ナフサ）においてもリム火災が発生するが、同じく消防劣勢のため、12 時 15 分に全面火災へ進展する。</p>
------------	--

被害発生場所	地図を掲載
--------	-------

被害や部隊活動の推移	時間推移	被害の推移	部隊活動の推移
被害や 部隊活動の 推移	09:00 ~09:29	【09時00分】 震度 5 強の地震が発生	【09時20分】 地震の発生により、A石油コンビナート等特別防災区域の各事業所にあるタンクの異常の有無を確認し、自衛防災組織より異常がないことを〇〇市消防本部及び県災害対策本部に報告
	09:30 ~09:59	【09時45分】 震度 6 強の地震により A 事業所内のAタンクにおいて危険物の漏洩及びリム火災が発生	【09時55分】 自衛防災組織より被害状況を〇〇市消防本部及び県災害対策本部に通報 管轄消防本部は市街地での活動により対応が困難
	10:00 ~10:29	延焼中（鎮圧の目途立たず）	【10時20分】 管轄消防本部より要請を受けた代表消防機関から 3 点セット（大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車）が現場に向けて出発
	10:30 ~10:59	【10時30分】 当初リム火災であったAタンクが全面火災へ進展	【10時35分】 広域共同防災組織間の相互応援協定に基づき、他ブロックの広域共同防災組織へ大容量泡放射システムの応援出動を要請
	11:00 ~11:29	依然、延焼中(鎮火の目途立たず)	【11時00分】 代表消防機関の 3 点セットが現場に到着 消火活動開始
	11:30 ~11:59	【11時45分】 震度 6 弱の地震発生 A事業所内のBタンクにおいてもリム火災が発生	【11時45分】 2 基目のタンク火災発生により、再び消防力が劣勢
	12:00 ~12:30	【12時15分】 当初リム火災であったB火災が全面火災へ進展	

被害概要(シナリオ)		<p>9時45分に発生した震度6強の地震により〇〇地区にて大規模な地すべりが発生。麓の民家〇軒が土砂に埋もれている。付近住民の話では、民家に住んでいた〇世帯〇家族との連絡が取れず、生き埋めになっている模様。また、同地区に繋がる幹線道路(または橋)にも土石流が流れており、車両の通行が困難。</p>	
被害発生場所		<p>地図を掲載</p>	
被害や部隊活動の推移	時間推移	被害の推移	部隊活動の推移
	09:00 ~09:29		
	09:30 ~09:59	<p>【09時45分】 震度6強の地震により〇〇地区にて大規模な地すべりが発生 麓の民家〇軒が土砂に埋もれているとの通報</p>	
	10:00 ~10:29	<p>【10時00分】 県警本部より同地区に繋がる幹線道路(または橋)にも土石流が流れており、車両の通行が困難との報告</p>	<p>【10時10分】 県警本部からの報告受け、管轄消防本部は予定のルートを迂回して現場に急行</p>
	10:30 ~10:59	<p>【10時45分】 気象庁より大雨警報と土砂災害警戒警報</p>	<p>【10時50分】 気象庁からの警報を受け、安全対策基準の検討</p>
	11:00 ~11:29		
	11:30 ~11:59	<p>【11時45分】 震度6弱の地震発生</p>	<p>【11時45分】 余震発生に伴う部隊の一次避難と被害確認</p>
	12:00 ~12:30		

<p>被害概要(シナリオ)</p>	<p>9時45分に発生した震度6強の地震により〇〇地区に所在する〇〇化学工場のプラントで、爆発を伴う火災が発生。現在も延焼中。工場内で勤務していた作業員〇人が火災に巻き込まれている模様。また、有毒ガスの発生は未確認ながらも、周囲に強い臭気を覚知。作業員からの聞き取りによると、作業員複数名が爆発の際に飛び散った薬品を浴びた模様。いまだ救助できていない。貯蔵している薬品は〇〇。今回の爆発により、工場を中心に周囲の建物で、窓ガラスが割れる等の被害を確認。</p>		
<p>被害発生場所</p>	<p>地図を掲載</p>		
<p>被害や部隊活動の推移</p>	<p>時間推移</p>	<p>被害の推移</p>	<p>部隊活動の推移</p>
<p>09:00 ~09:29</p>			
<p>09:30 ~09:59</p>	<p>【09時45分】 震度6強の地震により〇〇地区の〇〇化学工場のプラントで爆発をとまなう火災が発生との通報</p>		
<p>10:00 ~10:29</p>	<p>【10時00分】 周囲に強い臭気を覚知</p>	<p>【10時00分】 管轄消防本部が到着し、被害状況の確認と有害物質の検知を実施</p>	
<p>10:30 ~10:59</p>		<p>【10時50分】 管轄消防本部によりゾーニングが完了</p>	
<p>11:00 ~11:29</p>		<p>【11時25分】 県内応援隊到着 活動内容について管轄消防本部と協議</p>	
<p>11:30 ~11:59</p>		<p>【11時45分】 要救助者の検索のため施設に進入開始 除染エリアの設定開始</p>	
<p>12:00 ~12:30</p>		<p>【12時00分】 施設内にて作業員1名を発見し、救出 意識不明の重体</p>	

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
1	応援要請の判断		訓練統制	9時00分	定時付与	訓練参加者	口頭/館内放送 (実態に合わせ記入)	地震発生。 ●●地区で「震度5強」が観測されました。 各所においては大規模災害時における初動体制を整えてください。 なお、庁舎は停電となりましたが、非常電源設備が正常に作動しましたので、庁舎内における電気機器の使用は可能です。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
2	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	9時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(地震の概要) 発生日時：平成●●年●●月●●日●●時●●分 震央地名：●●地区 震源の深さ：約●●km 地震の規模：最大震度5強	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
3	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	9時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(各地の震度) 震度5強：●●、●●、●● 震度5弱：●●、●●、●● 震度4：●●、●●、●●	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
4	応援要請の判断		消防庁	9時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●●●(震央地名)で最大震度5強を観測したため、消防庁内の消防防災・危機管理センター内に災害対策本部を設置しました。 被害状況の確認を行い、「火災・災害等即報要領」に基づき、第1報を30分以内に消防庁へFAXを送付してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
5	応援要請の判断		消防庁	9時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 被害状況と被災地消防本部、県内の消防力を比較し、消防力が劣勢であれば、緊急消防援助隊の応援を要請してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
6	訓練の統制		通信指令室 (実態に合わせ記入)	9時00分	定時付与	消防本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	※所管地域内で発生した被害を付与	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
7	関係機関との連携		県警本部 (実態に合わせ記入)	9時10分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の○○です。 先ほど発生した地震に対して、県警本部長より機動隊に対して災害警備の指示が出されました。 警察の活動のため、県警本部よりLOを派遣します。 到着は9時30分を予定しています。 判明している被害状況、消防部隊の活動状況、要救助地域などの情報共有をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
8	訓練の統制		県警本部 (実態に合わせ記入)	9時20分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 震度5強以上を観測した地域を中心に道路被害の確認を行っています。 事前に指定された緊急交道路においては、一般車両の通行を停止させています。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
9	応援要請の判断		消防庁	9時25分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 ●●市で多数の被害が出ているようですが、緊急消防援助隊の必要はありませんか。 自衛隊の災害派遣を要請する場合は、緊急消防援助隊の応援の必要性についても検討してください。		(プレイヤーに期待する活動を記入)
10	関係機関との連携		自衛隊 (実態に合わせ記入)	9時30分	災害派遣要請が行われた場合	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	自衛隊の〇〇です。 知事より災害派遣要請を受け、災害派遣部隊が出動準備中です。 県庁にて部隊の運用調整を行いたいので、●●司令部よりLOが県庁に向かって います。 到着は9時50分の予定です。 判明している被害状況、消防部隊の活動状況、要救助地域などの情報共有をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
11	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(地震の概要) 発生日時：平成●●年●●月●●日●●時●●分 震源地名：●●●● 震源の深さ：約●●km 地震の規模：最大震度6強	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
12	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(各地の震度) 震度6強：●●、●●、●● 震度6弱：●●、●●、●● 震度5強：●●、●●、●●	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
13	その他の活動		消防庁	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 ●●●●(震源地名)で最大震度6強を観測したため、被災地の被害状況を確認し、速やかに消防庁へ報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
14	応援要請の判断		消防庁	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 先ほど最大震度6強を観測する地震が発生したため、緊急消防援助の迅速出動区分Ⅱが適用されます。 出動の対象となる緊急消防援助隊が向かいますので県内の受援体制を整えてください。 また、消防応援活動調整本部を設置した場合、設置日時、設置場所、構成員及び連絡先を報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
15	関係機関との連携		県警本部 (実態に合わせ記入)	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 先ほど発生した地震に対して、県警本部長より警察庁に対して警察災害派遣隊の 応援要請を行いました。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
16	関係機関との連携		DMAT (実態に合わせ記入)	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県災害対策本部医務班・DMAT担当の〇〇です。 地震発生直後よりEMISを「災害モード」ONとして、県内の災害拠点病院を中心 に患者受入可否及び受入可能数の報告を要請しました。 現時点で判明している患者受入可否及び受入可能数を別紙の通り連絡します。	EMIS画面	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
17	安全確保の検討		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	9時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	気象庁発表(余震に関する情報) 今朝発生した地震により、今後1週間は、同規模かそれ以上の地震が発生する可 能性がある。引き続き、強い揺れに対する警戒が必要。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
18	その他の活動		消防庁	9時50分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 9時20分、臨時閣議の結果、官邸対策室は非常災害対策本部に改組となりまし た。 10時30分から第1回対策本部会議が開催されるため、10時00分時点の被害状 況、県内応援隊の活動状況、緊急消防援助隊の活動予定を10時20分までにFAX で報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
19	受援体制の確立		消防庁	9時50分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 ●●消防局の指揮支援隊が県庁に向かうため、自局ヘリにより出発する見込みで す。 ヘリの離着陸場と県庁までの移動手段について調整の上、至急連絡をお願いします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
20	訓練の統制		県警本部 (実態に合わせ記入)	9時50分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 震度6弱以上を観測した地域では、全域停電を確認しています。信号機も全て停 止しているため、これより警察官による交通誘導を行います。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)
21	訓練の統制		県警本部 (実態に合わせ記入)	9時50分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 道路被害を確認中の警官より、報告がありました。 県道●●号線「●●」～「●●」の区間が家屋倒壊により、通行止めとしており ます。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する 活動を記入)

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
22	受援体制の確立		消防庁	10時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 迅速出動により出動する緊急消防援助隊は、今送付した別記様式3-2のとおりです。 この内容は、緊急消防援助隊動態情報システム及び支援情報共有ツールにも入力してありますので確認してください。 また、指揮支援隊の増隊や都道府県大隊の必要性についても検討し、必要があれば消防庁へ要請を行ってください。	別記様式3-2	(プレイヤーに期待する活動を記入)
23	受援体制の確立		消防庁	10時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	緊急消防援助隊 動態情報システム 支援情報共有ツール	緊急消防援助隊の応援部隊は以下のとおりです。 指揮支援部隊長：●●消防局(●●県庁) 統合機動部隊：●●県、●●県、●●県、●●県 航空小隊：●●県、●●県、●●県、●●県、●●県	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
24	訓練の統制		県警本部 (実態に合わせ記入)	10時00分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 道路管理事業者であるネクスコ(●●)より、報告がありました。 県内に通じる全ての高速道路は、通行可能ですが、制限速度は50km/hです。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
25	関係機関との連携		自衛隊 (実態に合わせ記入)	10時10分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	自衛隊の〇〇です。 ●●駐屯地より災害派遣部隊が出動しました。自衛隊の活動場所について立案したいので、県内消防応援隊及び緊急消防援助隊の活動予定場所、ヘリベースについて教えてください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
26	訓練の統制		県警本部 (実態に合わせ記入)	10時10分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県警本部の〇〇です。 道路被害を確認中の警官より、報告がありました。 ●●川に架かる●●橋が崩落しています。 そのため、県道●●号線「●●」～「●●」の区間を通行止めしました。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
27	受援体制の確立		消防庁	10時15分	ヘリの離着陸場、着陸後の移動手段について報告があった場合付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の〇〇です。 ●●消防局の指揮支援隊が県庁へ出発しました。 到着時間は11時00分です。 受援計画に基づき、指揮支援隊の受け入れ態勢を整えてください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
28	関係機関との連携		DMAT (実態に合わせ記入)	10時20分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県災害対策本部医務班・DMAT担当の〇〇です。 DMATの調整について報告します。 現在●隊のDMATが出動準備中です。 派遣場所によっては調整中。 一次集結場所は●●●●とします。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
29	受援体制の確立		県内消防応援隊 (実態に合わせ記入)	10時20分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	県内消防応援隊の部隊配置状況を報告します。 ●●市消防本部：消火小隊●隊、救助小隊●隊、救急小隊●隊、●●地区で活動中。 ●●市消防本部：消火小隊●隊、救助小隊●隊、救急小隊●隊、●●地区で活動中。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
30	安全確保の検討		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	10時30分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	気象庁発表(今後の天気) 本日午後より、前線を伴った低気圧が進んでくるため、●●を中心に南の風で曇り時々雨となる見込み。 明日も引き続き前線が停滞するため、局地的に大雨が予想される。 河川の氾濫、山間部では土砂崩れの警戒が必要。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
31	安全確保の検討		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	10時40分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	気象庁発表(警報の発令) ●●市、●●市、●●市：大雨警報、土砂災害警戒情報 ●●市、●●町：大雨注意報、土砂災害警戒情報	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
32	安全確保の検討		消防庁	10時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 又は指揮支援部隊長 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 先ほど、緊急消防援助隊の活動地域(被災地)に大雨、土砂災害警戒警報が発令されたとの情報がありましたが、確認できておりますでしょうか。 安全管理の徹底と二次災害防止のため、以下の点を検討し、消防庁へ連絡をお願いします。 1. 活動の中止基準、避難時の周知方法、避難場所の指定等の安全管理体制 2. 二次災害を考慮した宿営場所の選定	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
33	受援体制の確立		消防庁	10時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●県の統合機動部隊が発令しました。 以下の内容について確認・検討し、消防庁へ速やか(11時30分を目途)に報告してください。 1. 進出拠点は計画のとおり農央管轄消防本部の庁舎でいいか。 2. 進出拠点までの進出ルートの被害状況	様式3-3	(プレイヤーに期待する活動を記入)
34	その他の活動		消防庁	11時20分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 12時30分より第2回非常災害対策本部会議が開催されることになりました。11時45分時点の被害状況と県内応援隊の活動状況、緊急消防援助隊の活動予定を12時00分までにFAXで報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
35	受援体制の確立		消防庁	11時30分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●県の統合機動部隊は14時00分に指定された進出拠点到着します。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

通番	検証項目	状況付与担当 (コントローラー)	付与元	付与時刻	付与条件	付与先	付与方法	付与内容	添付資料	期待される活動
36	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	11時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(地震の概要) 発生日時：平成●●年●●月●●日●●時●●分 震央地名：●●●● 震源の深さ：約●●km 地震の規模：最大震度6弱	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
37	訓練の統制		気象庁/気象台 (実態に合わせ記入)	11時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	ニュース (スライド/紙)	気象庁発表(各地の震度) 震度6弱：●●、●●、●● 震度5強：●●、●●、●● 震度5弱：●●、●●、●●	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
38	その他の活動		消防庁	11時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 ●●●●(震央地名)で最大震度6弱を観測したため、被災地の被害状況を確認し、速やかに消防庁へ報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
39	安全確保の検討		消防庁	11時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部/ 指揮支援部隊長 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 先ほど発生した地震により、活動中(進出中)の緊急消防援助隊の被害状況を確認し、消防庁へ報告してください。	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)
40	増隊/移動の検討		消防庁	11時45分	定時付与	都道府県庁災害対策本部 (実態に合わせ記入)	TEL/FAX/メール等 (実態に合わせ記入)	消防庁の○○です。 先ほど発生した地震について、指揮支援部隊長とともに以下の内容について確認・検討し、消防庁へ速やかに報告してください。 1. 緊急消防援助隊の増隊の要否(必要な場合は、被害状況を踏まえた部隊の種類) 2. 緊急消防援助隊の移動の要否(必要な場合は、移動させる地域)	添付資料なし	(プレイヤーに期待する活動を記入)

訓練

カード連番	通番を入力→	1
検証項目	応援要請の判断	

状況付与指示書

付与担当	0	—	
付与元	訓練統制	付与時間	9時00分
付与先	訓練参加者	付与方法	口頭/館内放送 (実態に合わせ記入)
付与条件	定時付与		
添付資料	添付資料なし		

【付与内容】

こちらは、訓練統制です。

訓練、これは訓練です

地震発生。

●●地区で「震度5強」が観測されました。

各所においては大規模災害時における初動体制を整えてください。

なお、庁舎は停電となりましたが、非常電源設備が正常に作動しましたので、庁舎内における電気機器の使用は可能です。

備考/メモ

#	検証項目	評価の観点	評価					発見された課題
			評価軸(該当する方にチェック)					
1	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、発生している災害と自消防力の規模の分析を実施したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
2	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、警察や自衛隊の災害派遣部隊の活動勢力の勘案したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
3	応援要請の判断	緊急消防援助隊の応援要請を行う際、緊急消防援助隊に期待する具体的な活動内容の検討・報告したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
4	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な情報を、消防応援活動調整本部と指揮支援本部の間で共有したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
5	受援体制の確立	到着した指揮支援部隊/式指揮支援隊に対して、地図等を用いるなどして収集した情報を共有したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
6	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な進出拠点の所在及び進出ルートについて検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
7	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な進出拠点との連絡体制について検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
8	受援体制の確立	緊急消防援助隊の活動に必要な燃料補給体制について検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
9	安全確保の検討	余震や大雨警報等を考慮し、活動中の部隊の安全確保基準について検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
10	安全確保の検討	余震等を考慮し、進出拠点や宿営拠点の安全性について検討を行ったか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
11	増隊/移動等の検討	発生した重大被害に対して、緊急消防援助隊の増隊を検討したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
12	増隊/移動等の検討	発生した重大被害に対して、緊急消防援助隊の移動を検討したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
13	関係機関との連携	救助・救急、消火活動について、警察の災害派遣部隊と役割分担や連携を実施したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
14	関係機関との連携	救助・救急、消火活動について、自衛隊の災害派遣部隊と役割分担や連携を実施したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	
15	関係機関との連携	救助・救急、消火活動について、DMATと役割分担や連携を実施したか	<input type="checkbox"/> よくできた	<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	<input type="checkbox"/> 未実施	

【訓練全体の総括】